

平成 28 年度

事業報告書および決算報告書

平成 28 年 4 月 1 日から

平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

○事業報告

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 ソフトテニス競技規則等の制定事業	1
2 全日本ソフトテニス選手権大会等開催	1～3
3 地域ソフトテニス大会支援	3
4 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援	3～4
5 ソフトテニスの広報活動	4～5
6 ソフトテニスの表彰・顕彰	5～17
7 ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業	18
8 ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業	18～19
9 ソフトテニス用具・用品、施設の公認	19

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査	19～26
2 ソフトテニスの指導者育成	26～27

III. ソフトテニスの国際振興事業

1 ソフトテニスの国際振興	27～29
---------------	-------

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

1. 組織と財政の強化	29
1 組織と財政の強化の推進	29
2 環境と教育への取組み	29
3 会員登録制度の推進	29～30
4 暴力行為の根絶	30
5 2020年東京オリンピックに向けてソフトテニスを広くアピールするための広報活動	30
6 長期基本計画2017の策定	30

(庶務事項)

1 評議員会に関する事項	30～31
2 理事会に関する事項	31～33
3 業務執行理事会議に関する事項	33
4 業務執行会議に関する事項	33～34
5 専門委員会等に関する事項	34～35
6 役員・事務局職員に関する事項	36～45
7 会員登録に関する事項	46
8 分担金に関する事項	46～47
9 補助金・助成金等に関する事項	48
10 寄付金・協賛金に関する事項	48～49

11 傷害補償制度の給付金に関する事項	49
別表 1～4 (大会一覧表・技術等級認定実績・公認審判員認定実績・会員登録実績)	50～56

○決算報告書

1. 財務諸表等

(1) 貸借対照表	57
(2) 正味財産増減計算書	58
(3) 正味財産増減計算書内訳表	59～60
(4) 財務諸表の注記	61～62
(5) 附属明細書	63
(6) 財産目録	64

独立監査人の監査報告書	65～66
-------------------	-------

監査報告書	67
-------------	----

1 事業報告

本連盟は、昭和 58 年（1983 年度）以来、ソフトテニスの抱える現状や課題に対応すると共に、ソフトテニスの一層の普及振興を図るため、将来像の基本となる方向性を示す長期基本計画を策定し、その方針に沿って総合的かつ計画的に事業推進に取り組んできた。

平成 28 年度は長期基本計画 2012 の最終年度であり、その計画期間が終了となるため、計画の達成状況や課題を踏まえて、平成 29 年度（2017 年度）から平成 33 年度（2021 年度）を計画期間とする「ソフトテニス長期基本計画 2017」を策定した。

平成 28 年度の事業遂行にあたっては、「ソフトテニス長期基本計画 2012」の最終年度として、ソフトテニスの普及振興を図ること、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、計画の達成状況を確認し、計画の実現に向けて公益財団法人として、高い社会的信用を維持し、次の諸事業を積極的かつ効果的に実施した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則等の制定事業

(1) ソフトテニス競技（ダブルス・シングルス）を実施するために必要な競技規則を定めることを目的として、ソフトテニスの振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるよう、ソフトテニスハンドブック（競技規則・審判規則・大会運営規則）やジュニア審判マニュアル等に反映するための検討をした。

① ソフトテニスハンドブックの販売、ジュニア審判マニュアルの配布をした。

② ジュニア審判員検定会共通資料(パワーポイント)の内容について確認を行った。

③ 機関誌ソフトテニスのワンポイントレッスン記事の整理を行った。記事の事例を関係条文が分かるようにまとめ、これを日本連盟のホームページにアップし、スマートフォンで誰でも見られるようにした。

④ 全日本アンダーチームの合宿で競技規則、審判規則について研修を実施し、フェアプレーの精神を身につけることや、規則やマナーの遵守徹底を促した。

⑤ 大会時に審判を行う際にワッペンを左胸に取り付けることを徹底し、審判員の意識向上を図った。

(2) 日本で発祥した競技であることから、国際ソフトテニス連盟（以下 ISTF）やアジアソフトテニス連盟（以下 ASTF）における中心的なリーダー国として国際競技規則との整合性を図ると共に、英語版審判技術マニュアル(DVD)等を活用して国際普及を推進した。

① 国際競技規則の改訂の検討を進めた。

世界各国に設置されているテニスコートに合わせた施設基準(アウトコート)に改訂し、国際大会の実施に支障が無いようにすることを ISTF に提言すべく統合案について検討した。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

(1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。

- ① 別表 1 (P50～53) のとおりの大会日程および会場で実施した。
 - ② 大会要項の改訂を検討した。
 - ・全日本シングルス選手権大会
 - ア. 参加枠について見直しを図り、平成 29 年度大会より適用とした。
 - ③ 日本スポーツ振興センターの助成事業として以下の大会を実施した。

ア. JOC ジュニアオリンピックカップ大会／全日本ジュニア選手権大会	助成金 1,399,000 円
イ. 天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会	助成金 2,785,000 円
- (2) 大会の検討と大会運営の改善
- ① 全日本選手権大会の検討
 - ・NHK 放送を考慮した会場の基準や進行等を工夫して「するスポーツ」と「見るスポーツ」双方を向上させるための検討を継続した。
 - ② 新規全日本大会の検討
 - ・以下の新規大会創設の案を策定し、開催の検討を行った。
 - ア. 全日本団体総合選手権大会
 - 高校、大学、社会人の代表による大会の検討を行った。
 - イ. 全日本混合ダブルス選手権大会
 - 全日本シニア選手権大会から独立し、一般、成年種別を含めた大会とする方向で検討した。
 - ③ 全日本シングルス選手権大会
 - ・参加枠の変更を検討し、平成 29 年度より対象とした。
 - ④ 日本スポーツマスターズの充実
 - ・日本スポーツマスターズに全都道府県の参加を目指してアンケート調査を実施し、大会の充実を図るため日程の検討と参加者の負担軽減等を検討した。
 - ・平成 28 年度より参加支部への支援を 150,000 円に増額した。
 - ・日程を 3 日間から 2 日間への変更を検討し、日本体育協会と協議した結果、平成 29 年度より 2 日間開催が実現することとなった。
 - ⑤ 大会参加申込システムの活用
 - ・日本連盟主催大会の参加申込システム活用により支部の事務負担の軽減および効率化を図った。平成 27 年度より実施した支部大会申込システムの活用を促進した。
 - ⑥ 主催大会開催地への支援
 - ・主催大会を主管し、実質的に運営している開催地の決算・運営状況等を的確に把握し、主要事業である大会が円滑に運営されるように支援した。
 - ⑦ 大会運営マニュアルの作成
 - ・円滑な大会運営を行うため大会運営マニュアルを作成した。
 - ⑧ ゼッケンの着用
 - ・日本連盟主催大会において着用しているゼッケンの字体についてゴシック体太文字とし、平成 29 年度大会より実施することとした。
 - ・高校生については平成 27 年度にて日本ソフトテニス連盟仕様に統一した。中学生については、

平成 26 年度より統一に向けて取り組み、平成 28 年度に統一を完了した。

⑨ 簡易得点板の設置

・日本連盟主催大会において簡易得点板を設置し、進行状況が誰でもわかるようにした。

3. 地域ソフトテニス大会支援

(1) 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行った。

① 9 地区選手権大会

・9 地区×200,000 円を助成した。

② 地区高校選抜大会

・9 地区×100,000 円を助成した。

③ 地区中学選手権大会

・9 地区×100,000 円を助成した。

④ 全日本シニア東西対抗大会

・400,000 円を助成した。

⑤ 全日本学生同好会大会

・200,000 円を助成した。

4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援

(1) 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。

① 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成

・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から下記の率により助成した。

(一般 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%)

② 支部中学校大会への補助

・46 支部×@30,000 円を助成した。

③ 支部小学生大会への補助

・45 支部×@30,000 円を助成した。

④ ソフトテニス週間の実施

・10 月の体育の日(月)を中心とした週(金曜日から木曜日)をソフトテニス週間として定め、全国で一斉にソフトテニスを楽しみアピールした。

45 支部×@100,000 円を助成した。(継続)

⑤ ソフトテニス愛好者増加対策

・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供し、またレディースを含めた社会人を対象として支部が実施する愛好者増加対策事業を支援した。

47 支部×@150,000 円を助成した。(継続)

・日本連盟で作成した指導教本(DVD BOOK)を活用して指導者に指導法を提供し、愛好者の指導に貢献、協力してもらった。

⑥ 指導者バンク(地域)の活用促進

- ・積極的に指導者バンク（地域）を活用し、競技者育成プログラム（Step-1, 2）の推進および、中学校・高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者を確保・活用した。

⑦ 傷害補償制度の徹底

- ・制度の目的、主旨を会員報・ホームページ等を利用して分かり易く伝え制度活用の推進を図った。

5. ソフトテニスの広報活動

(1) メディア対策

① 新聞報道の充実

- ・話題性のある広報を積極的に行うためにどうすべきかとの観点より、事前実施前の資料提供を行った。
- ・新聞報道対応マニュアルを活用した。

② テレビ放映の充実

- ・平成 13 年から継続している全日本選手権大会の NHK テレビ放送を 16 回連続実現した。

(2) ホームページの運営

① ホームページ等の充実

- ・日本連盟ホームページの充実と積極的活用を行った。
- ・日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
- ・YouTube を使いアジア選手権の様子を伝えた。
- ・過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見られるように動画ライブラリーを推進し効果的広報を展開した。
- ・日本連盟ホームページ(英語版)とアジア連盟ホームページから国際情報を積極的に発信した。

(3) 広報誌発行

① 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- ・内容の充実と購読者募集を行った。

購読者数	支部購読	1,234 名	個人購読	226 名
(平成 27 年度)	支部購読	1,289 名	個人購読	254 名

② 会員報を年 2 回発行した。

③ 平成 28 年大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。

(4) 「ソフトテニスの歌」の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と、全国各地域での普及を図った。
- ・ソフトテニスの歌「ウイニングショット」、ソフトテニス応援歌「青空背負って」の周知を図った。

(5) ソフトテニスのアピールと周知

① ソフトテニスの映画「案山子とラケット」の上映および非劇場上映への案内

- ・2020 年の東京オリンピックを見据え、ソフトテニスを広くアピールするために制作したソフトテニスの映画「案山子とラケット」を、公開時に劇場で見ることができなかった方々等を対象に劇場以外の非劇場にて上映することを決め、都道府県連盟への連絡、ホームページでの紹介

を行った。

② ソフトテニスの指導教本 (DVD BOOK) ・漫画を通してのソフトテニスの普及活動

・映画とともにソフトテニスを広くアピールするために作成した指導教本 (DVD BOOK) ・漫画の全国 1,500 の書店を通しての販売を継続し、ソフトテニスの普及活動に努めた。

③ マスコットキャラクター「そふていー」を通してのソフトテニスのアピール

・マスコットキャラクター「そふていー」を引き続き小学生の大会、中学生の大会およびその他の大会等に登場させ、ソフトテニスを広くアピールした。

6. ソフトテニスの表彰・顕彰

平成 28 年 12 月 4 日の評議員会に先立ち、平成 28 年度の表彰式を執り行い 88 名の個人及び 42 団体の受賞に対して、本部功労者として丹崎健一理事および萬正一監事が表彰盾を、支部功労者の中から北海道を代表して運上琢諭評議員、優良団体の中から岩手県を代表して宮田勤評議員、優秀監督を代表して小野寺剛氏（早稲田大学）、最優秀選手およびランキング選手を代表して船水颯人氏（早稲田大学）に安道光二会長から賞状等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

1 本部功労賞	2名
2 支部功労賞	88名
3 優良団体	42団体
4 優秀監督	20名
5 優秀選手	12名
6 ランキング	510名
7 国際大会入賞者	36名
8 日本スポーツ賞	1チーム（9名）
9 JOC ジュニアオリンピックカップ	2名

[表彰者名簿]

- 本部功労者 丹崎 健一（日本連盟理事）
萬 正一（日本連盟監事）
- 支部功労者 別紙参照
- 優良団体 別紙参照
- 優秀監督
最優秀監督 実業団 男子 堀 晃大（N T T 西日本広島）
女子 松口 友也（ヨネックス）
大 学 男子 小野寺 剛（早稲田大学）
女子 小野寺 剛（早稲田大学）

優秀監督	高 校	男子	中津川澄男（東北高校）
		女子	野口 英一（文化学園大学杉並高校）
	中 学	男子	杉山 寛（杉戸町立杉戸中学校）
		女子	後藤 明弘（山陽女子中学校）
	小学生	男子	加藤 哲也（埼玉県）
		女子	成田 久（山形県）
	実業団	男子	村田 正徳（宇部興産）
		女子	橋本 孝明（ワタキューセイモア）
	大 学	男子	西田 豊明（日本体育大学）
		女子	橋本 雅史（関西大学）
	高 校	男子	紙森 隆弘（高田商業高校）
		女子	林 三千夫（和歌山信愛高校）
	中 学	男子	齋藤 嘉徳（二本松市立二本松第一中学校）
		女子	新本 弘司（広島修道大学附属鈴峯女子中学校）
	小学生	男子	菊地 孝（新潟県）
		女子	宮原 英通（富山県）

5. 優秀選手

最優秀選手	男 子	船水颯人・星野慎平（早稲田大学）
	女 子	志牟田智美・地中葵（神戸松蔭女子学院大学）
優秀選手	男 子	水澤悠太・長江光一（N T T西日本広島）
	女 子	若田実友子・泉谷朋香（東芝姫路）
敢闘選手	男 子	村上雄人・林 大喜（N T T西日本広島）
	女 子	深澤昭恵・森原可奈（東芝姫路）

6. ランキング選手 別紙参照

7. 国際大会入賞者 別紙参照

8. 日本スポーツ賞 第8回アジア選手権大会日本男子代表チーム

9. JOC ジュニアオリンピックカップ 最優秀選手 男 子 内田理久（三重高校）
女 子 尾上胡桃（日本体育大学）

平成28年度 支部功労者・優良団体

	支部名	支部功労者	支部功労者	優良団体
1	北海道	今 尚 文	今 井 穰	函館ソフトテニス連盟
2	青 森	田 邊 益 子	山 辺 鉄 春	YAMATO. STC
3	岩 手	川 口 史 朗	小 向 健 一	北上市ソフトテニス協会
4	宮 城	粕 谷 日 出 雄	古 山 泰 子	仙台市太白区ソフトテニス協会
5	秋 田	高 田 屋 馨	高 橋 善 之	将軍野クラブ
6	山 形	相 澤 一 彦	村 上 一 也	真室川町立真室川中学校女子ソフトテニス部
7	福 島	青 山 浩 治	村 上 昌 弘	二本松第一中学校男子ソフトテニス部
8	茨 城	大 滝 暢 彦	山 野 幹 典	日立市役所
9	栃 木	加 藤 勉	鮎 田 健 司	栃木市ソフトテニス連盟
10	群 馬	田 島 郁 文	常 本 公 志	甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ
11	埼 玉	中 村 雅 美	吉 川 洋 一	北本メイツ
12	千 葉	西ヶ谷 正 士	小 倉 和 江	野田ヤルキーズ
13	東 京	木 下 道 夫	浦 野 広 茂	
14	神 奈 川	山 浦 茂 雄	日 野 原 義 久	さつきクラブ
15	山 梨	小 林 康 行	古 屋 久 實	ダンキークラブ
16	新 潟	築 井 正 行	小 網 悦 男	魚沼クラブ
17	長 野	星 野 春 雄	丸 山 泰 明	中部電力長野支店ソフトテニスクラブ
18	富 山	長 田 恵 子	山 崎 誠	WING射水スポーツ少年団
19	石 川	西 田 隆 広	亀 田 誠	中能登町立中能登中学校
20	福 井	高 原 直 哉	池 田 君 夫	成和中学校男子ソフトテニス部
21	静 岡	長 谷 川 裕 巳	稲 村 英 詞	さわやかソフトテニスクラブ
22	愛 知	服 部 勲	加 藤 清 和	豊田市ソフトテニス協会
23	三 重	石 坂 健		四日市大学ソフトテニス部
24	岐 阜	嶋 崎 博 一	大 原 辰 政	瑞穂クラブ
25	滋 賀	土 居 周 子	高 畑 進	
26	京 都	豊 田 弘	中 山 則 男	京都二条ソフトテニスクラブ
27	大 阪	白 石 徳 明	三 松 典 子	四天王寺高等学校
28	兵 庫	石 田 睦	和 田 美 由 紀	関西電力 兵庫
29	奈 良	小 林 万 壽 美	野 坂 ひ と み	アドバンス
30	和 歌 山	吉 川 豊	玉 井 俊 充	有田川ソフトテニスクラブ
31	鳥 取	浜 田 一 哉		
32	島 根	西 藤 昌 裕		松江市立東出雲中学校女子ソフトテニス部
33	岡 山	寺 坂 鋭 子	佐 藤 敬 治	山陽女子中学校
34	広 島	藤 井 秀 明	井 上 健 太 郎	広島中央クラブ
35	山 口	波 佐 間 敏	岡 邦 彦	下関市ソフトテニス連盟
36	徳 島	大 谷 美 佐	中 倉 宏 典	永遠クラブ
37	香 川	江 戸 須 磨 子		だんき
38	愛 媛	宮 田 禎 子	伊 東 孝 夫	垣生ソフトテニスクラブ
39	高 知	尾 崎 美 智 子	坂 東 敦 子	高知市立 愛宕中学校ソフトテニス部
40	福 岡	岩 崎 慶 子		
41	佐 賀	伊 藤 孝 則	井 上 聖 子	鹿島市ソフトテニス連盟
42	長 崎	大 崎 好 隆	石 橋 康 弘	
43	熊 本	白 石 宅 男	堀 川 剛	熊本市立東野中学校男子ソフトテニス部
44	大 分	小 川 浩 一	佐 藤 光 晴	臼杵リターンエース
45	宮 崎	鶴 田 務	杉 本 浩 一	延岡市立西階中学校男子ソフトテニス部
46	鹿 児 島	神 川 浩 一	小 倉 和 洋	星ヶ峯東スポーツ少年団
47	沖 縄	眞 境 名 富 雄		うるま市クラブ
48	日本学連			
49	高体連			
50	中体連			
	合 計	88名		42団体

平成28年度 ソフトテニスランキング

総 合 男 子				総 合 女 子			
1	船水 颯人 星野 慎平	日本学連	早稲田大学	1	志牟田 智美 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
2	水澤 悠太 長江 光一	広島	N T T 西日本広島	2	若田 実友子 泉谷 朋香	兵庫	東芝姫路
3	村上 雄人 林 大喜	広島	N T T 西日本広島	3	深澤 昭恵 森原 可奈	兵庫	東芝姫路
4	船水 雄太 九島 一馬	広島 大阪	N T T 西日本広島 ミズノ	3	榎本 有花 田辺 恵理	広島	どんぐり北広島
5	本倉 健太郎 上松 俊貴	岡山	岡山理科大学付属高校	5	高橋 乃綾 半谷 美咲	広島	どんぐり北広島
6	林田 和樹 川淵 泰直	東京	ヨネックス	6	柿崎 あやの 黒木 瑠璃華	東京	ヨネックス
6	宮下 裕司 花田 周弥	兵庫	姫路アニマルズ	7	徳川 愛実 黒田 麻衣	東京	ヨネックス
6	篠原 秀典 小林 幸司	東京	日体桜友会 ミズノ	8	中川 瑞貴 濱村 紗和	東京	ナガセケンコー
9	増田 健人 柴田 章平	和歌山 京都	和歌山県庁 同志社クラブ	8	林田 リコ 宮下 ころろ	東京	文化学園大学杉並高校
10	鯨井 勇輝 高月 拓磨	埼玉 東京	日本信号 ヨネックス	10	成田 悠 小林 優美	愛知	アドマテックス

平成28年度 ソフトテニスランキング

社 会 人 男 子				社 会 人 女 子			
1	船水雄太 九島一馬	広島 大阪	NTT西日本広島 ミズノ	1	深澤昭恵 森原可奈	兵庫	東芝姫路
2	村上雄人 林大喜	広島	NTT西日本広島	2	田辺恵理 榎本有花	広島	どんぐり北広島
3	緒方貴浩 荒木翔	熊本	KSTアカデミー 苓北クラブ	3	河村佳奈 石井友梨	京都	ワタキューセイモア
3	増田健人 柴田章平	和歌山 京都	和歌山県庁 同志社クラブ	3	七尾美咲 西本小雪	京都	ワタキューセイモア
5	篠原秀典 小林幸司	東京	日体桜友会 ミズノ	5	山田優菜 天満久留実	鹿児島	城山観光ホテル
5	品川貴紀 山口大地	福井 東京	福井県庁 日体桜友会	5	柿崎あやの 黒木瑠璃華	東京	ヨネックス
5	古賀崇史 峯松健太郎	和歌山 滋賀	教友クラブ NASTA滋賀	5	小谷菜津美 大槻麗	福島	ダンロップ
5	丸中大明 原侑輝	広島	NTT西日本広島	5	中川瑞貴 濱村紗和	東京	ナガセケンコー

成 年 男 子				成 年 女 子			
1	吉川博之 足利剛平	山口 岡山	宇部興産 クラレ岡山	1	高井志保 成田扶美代	大阪	吹田クラブ KENKO
2	縄田栄二 吉國公人	山口	宇部市役所 山口教員クラブ	2	竹田佳恵 中根治美	愛知	一宮花・花 岡崎ロングロングクラブ
3	渡海聡 山下俊之	和歌山	和歌浦クラブ 教友クラブ	3	山本有美 花園安紀	東京	杉並文化クラブ
3	中澤厚雄 柳田真吾	北海道 埼玉	函館クラブ 川口ISC	3	藤岡友子 奥山奈美	埼玉	岩槻すみれクラブ 浦和テニスクラブ

シ ニ ア 男 子 4 5				シ ニ ア 女 子 4 5			
1	片峯俊和 篠原和彦	福岡	T O T O	1	下村万貴子 渡邊扶佐子	神奈川 東京	フコクテニスクラブ BLUE TAKAX
2	中島通晴 枝村賢美	静岡	浜松市役所	2	飯沼多鶴子 川邊陽子	千葉 埼玉	明日香 川口クラブ
3	平野秀樹 本間修二	千葉	小金原クラブ 道楽クラブ	3	田中道子 矢崎美穂	神奈川 東京	横浜レディース 杉並文化クラブ
3	栗田範幸 澤崎晋一	静岡	静岡商友クラブ オレンジテニスクラブ	3	米沢優美子 五十嵐美智恵	石川 新潟	ふたばクラブ 燕テニスクラブ

平成28年度 ソフトテニスランキング

シニア男子50				シニア女子50			
1	千野 一也 堀越 晴夫	東京	たちばなクラブ 板橋倶楽部	1	東 純子 宮崎 由佳子	兵庫 大阪	今津クラブ R I S E
2	岩瀬 尚 今井 克宏	東京	N I K O N	2	村岡 恵子 佐野 るり子	東京	杉並文化クラブ
3	上松 明裕 橋本 康徳	岡山 京都	岡山市役所 京都市役所	3	染谷 啓子 望月 千秋	千葉	小金原クラブ 佐倉クラブ
3	坂本 安弘 小野 和則	神奈川	綾瀬テニスクラブ JX 金属倉見	3	平山 友美 岡野 妙子	兵庫	今津クラブ 三田クラブ

シニア男子55				シニア女子55			
1	津吉 茂 谷本 満裕	愛媛 徳島	愛媛にぎたつクラブ 大神子病院	1	鈴木 明美 牧野 京子	新潟 埼玉	長岡レモンクラブ 川口クラブ
2	富澤 裕次郎 薮 政弘	福岡	サンデークラブ	2	青木 はな子 犬養 久子	埼玉	川口クラブ 岩槻すみれクラブ
3	原田 和昌 小野 尚彦	兵庫 岡山	加古川クラブ しらかべクラブ	3	大谷 美佐 木下 之美	徳島 和歌山	阿南クラブ ゆうがクラブ
3	梶原 茂徳 磯部 雅宏	東京	J R 東日本東京 BLUE TAKAX	3	羽賀 修子 原田 久美子	岐阜	長良川クラブ TEAM KUMA

シニア男子60				シニア女子60			
1	篠邊 保 松村 俊介	愛知 熊本	桜田クラブ 松橋クラブ	1	井伊 寿子 岩田 三枝子	群馬	高崎中央クラブ
2	谷本 優 小森 稔信	大阪	大阪OB軟庭会 堺連盟	2	清水 さかゑ 井上 光子	千葉	市原ドリーム 北柏ライフタウンクラブ
3	川島 俊昭 川崎 正紀	静岡	商門テニスクラブ 清水海星テニスクラブ	3	岸 知恵子 釜石 礼子	栃木	サンスポーツクラブ 足利ママクラブ
3	柿原 宏次 東 進一	兵庫	高丘クラブ 芦屋クラブ	3	寺門 恵子 石井 啓子	茨城	日立すずらん 日立はまゆう

シニア男子65				シニア女子65			
1	袴田 文雄 菅野 勝郎	秋田 岩手	能代支部 陸前高田市協会	1	川田 宏江 岡村 信子	兵庫	すずらんクラブ 東神戸クラブ
2	小野 栄 近藤 清	埼玉 栃木	浦和あづまクラブ 西那須野クラブ	2	大井 多恵 前原 明美	愛知	森林クラブ 岡崎レディスクラブ
3	木本 正之 金沢 秀夫	神奈川 東京	湘南クラブ 国分寺クラブ	3	中山 善枝 佐藤 芳子	大阪	サンレディース
3	野村 俊夫 南出 英正	和歌山	青葉クラブ 和歌山忠友クラブ	3	高橋 道子 金野 英子	埼玉	所沢ペアート ふじみ野 OTA

平成28年度 ソフトテニスランキング

シ ニ ア 男 子 7 0				シ ニ ア 女 子 7 0			
1	石川 延房 岩本 義久	静岡 静岡	富士ファミリークラブ 静岡 クラブ	1	服部 京子 渡辺 伸江	愛知	すみれクラブ
2	木藤 勝敏 熊田 章甫	大阪 岐阜	大阪OB軟庭会 TEAM KUMA	2	大塚 恵美子 林 孝江	群馬 埼玉	高崎中央クラブ 川口クラブ
3	松本 晋 古沢 周二	徳島 広島	徳島庭球倶楽部 呉百才会	3	磯部 照子 酒井 賀代子	愛知 徳島	津島クラブ 徳島県レディース連盟
3	宮本 一彦 伊藤 森博	福岡 大阪	たいこうクラブ 大阪OB軟庭会	3	吉田 芳子 木下 美江	鳥取	カナダホーム 湊山クラブ

シ ニ ア 男 子 7 5				シ ニ ア 女 子 7 5			
1	荒川 長彌 大滝 正栄	茨城	日立 S S T 日立 クラブ	1	高羽 邦子 山田 悦子	大阪	堺ミルフィーズ 東大阪アミー
2	野間 浩 新垣 柴光	福岡 沖縄	新日鐵住金八幡 どんぐりクラブ	2	喜利 ミナ子 加藤 鈴子	京都	洛西クラブ E F T クラブ
3	村山 宣明 宮本 洋右	大阪	大阪OB軟庭会	3	堀井 弘子 大上 素子	埼玉	所沢ペアート 上尾レディース
3	鈴木 重臣 石山 透	埼玉	蕨テニスクラブ 岩槻スバル	3	屋宮 規子 田中 輝子	千葉	天台クラブ 柏千代田クラブ

シ ニ ア 男 子 8 0				シ ニ ア 女 子 8 0			
1	若林 博之 中野 雅文	兵庫	三木クラブ 宝塚クラブ	1	福田 久恵 住友 康江	大阪 兵庫	枚方市連盟 すずらんクラブ
2	田万 豊廣 辻 喜千治	香川 愛媛	亀城クラブ 大洲 S T A	2	大久保 初子 関 寿子	愛知 東京	すみれクラブ 寿美礼クラブ
3	堤 国彦 明井 雄二	京都	朝霧クラブ 同志社クラブ	3	内海 静枝 竹田 環	東京 京都	世田谷 城陽クラブ
3	佐藤 充 鶴 亦雄	大阪 長崎	大正クラブ 大村市協会	3			

シ ニ ア 混 合 4 5				シ ニ ア 混 合 5 0			
1	濱田 英明 花園 安紀	東京	練馬ソフト 杉並文化クラブ	1	小野川 昭彦 古川 公子	広島	広島中央クラブ リボン会
2	八木 澤望 八木 澤香里	茨城	茨城フリー 日立はまゆう	2	染谷 啓子 小林 浩司	千葉	小金原クラブ 小金原クラブ
3	岡 夕香 杉山 忍	岡山	クラレ岡山 しらかべクラブ	3	萩原 由美 堀越 晴夫	東京	杉並文化クラブ 板橋倶楽部
3	塚原 達也 林田 昌子	神奈川 福岡	せせらぎクラブ 福岡クラブ	3	中山 広子 川野 辺武	埼玉	天沼ファミリー 久喜栗橋テニス

平成28年度 ソフトテニスランキング

シ ニ ア 混 合 5 5				シ ニ ア 混 合 6 0			
1	小 沼 勉 益 子 益 代	茨城	日 立 ク ラ ブ 日 立 は ま ゆ う	1	増 田 加 奈 小 川 博	愛知 愛知	岡 崎 バ ー ド 三 菱 名 古 屋
2	若 梅 明 彦 若 梅 美 江 子	千葉	ふ れ あ い ク ラ ブ	2	福 谷 道 明 田 村 良 子	大阪 東京	箕 面 ク ラ ブ 世 田 谷
3	金 子 由 美 関 和 栄 次	神奈川	横 浜 ス マ イ ル 厚 木 テ ニ ス ク ラ ブ	3	永 井 良 一 石 井 啓 子	茨城 茨城	茨 城 県 庁 日 立 は ま ゆ う
3	山 本 幸 輝 大 嶋 美 智 子	三重 愛知	百 五 銀 行 春 日 井 ク ラ ブ	3	清 水 さ か 多 津 吉 信 也	千葉 愛媛	市 原 ド リ ー ム 今 治 連 盟

シ ニ ア 混 合 6 5				シ ニ ア 混 合 7 0			
1	近 藤 清 藤 田 ヤ ス	栃木	西 那 須 野 ク ラ ブ 大 田 原 ク ラ ブ	1	吉 川 章 杉 内 昭 代	兵庫 徳島	川 崎 重 工 明 石 徳 島 庭 球 倶 楽 部
2	沼 田 義 雄 沼 田 ム ツ 子	熊本	宇 土 ク ラ ブ	2	石 川 延 房 石 川 明 子	静岡	富 士 フ ァ ミ リ ー ク ラ ブ
3	鈴 木 亮 輔 前 原 明 美	愛知	岡 崎 壮 年 ク ラ ブ 岡 崎 レ デ ィ ス ク ラ ブ	3	蟹 江 厚 佑 富 山 郁 代	愛知	知 多 協 会 す み れ ク ラ ブ
3	佐 野 邦 子 小 森 裕	岐阜	大 垣 早 起 会 可 児 市 ク ラ ブ	3	酒 井 賀 代 子 宮 田 啓 資	徳島	徳 島 県 レ デ ィ ー ス 連 盟 永 遠 ク ラ ブ

ジュニアシングルスU - 14 男子				ジュニアシングルスU - 14 女子			
1	端 山 羅 行	石川	中 能 登 中 学 校	1	徳 永 栞 波	岡山	山 陽 女 子 中 学 校
2	濱 田 倫 太 朗	石川	中 能 登 中 学 校	2	浅 見 今 日 子	広島	広 島 修 道 大 学 附 属 鈴 峯 女 子 中 学 校
3	黒 坂 卓 矢	埼玉	わ か く さ	3	濱 島 怜 奈	広島	広 島 修 道 大 学 附 属 鈴 峯 女 子 中 学 校
3	武 市 大 輝	山口	下 松 中 学 校	3	望 月 聖 那	兵庫	姫 路 ジ ュ ニ ア ク ラ ブ

ジュニアシングルスU - 17 男子				ジュニアシングルスU - 17 女子			
1	広 岡 宙	大阪	上 宮 高 校	1	林 田 リ コ	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校
2	上 岡 俊 介	大阪	上 宮 高 校	2	宮 下 こ こ ろ	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校
3	山 根 稔 平	奈良	高 田 商 業 高 校	3	森 本 彩 鼓	広島	広 島 修 道 大 学 附 属 鈴 峯 女 子 高 校
3	根 本 大 地	奈良	高 田 商 業 高 校	3	小 林 愛 美	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校

ジュニアシングルスU - 20 男子				ジュニアシングルスU - 20 女子			
1	内 田 理 久	三重	三 重 高 校	1	尾 上 胡 桃	日本学連	日 本 体 育 大 学
2	永 井 宏 典	日本学連	日 本 体 育 大 学	2	浅 田 実 那	富山	高 岡 西 高 校
3	丸 岡 俊 介	日本学連	明 治 大 学	3	早 川 日 向	富山	高 岡 西 高 校
3	本 倉 健 太 郎	岡山	岡 山 理 科 大 学 附 属 高 校	3	貝 瀬 ほ の か	和歌山	和 歌 山 信 愛 高 校

平成28年度 ソフトテニスランキング

ジュニアダブルス U - 14 男子				ジュニアダブルス U - 14 女子			
1	広岡大河 片岡暁紀	大阪 兵庫	上宮中学校 和田山中学校	1	根岸楓英奈 濱島怜奈	大阪 広島	昇陽中学校 広島修道大学附属鈴峯女子中学校
2	矢野颯人 武市大輝	和歌山 山口	西和中学校 下松中学校	2	高島萌果 五十嵐美結	東京	稲城ジュニアクラブ 練馬区立光が丘第二中学校
3	中川雄太 小松隼士	山口	下松ジュニアクラブ	3	小柴心寧 轡田愛	富山	WING射水スポーツ少年団
3	黒坂卓矢 柿下翔耶	埼玉 福井	わかくさ 福井市ジュニアソフトテニスクラブ	3	林李々花 畑中望来	和歌山	美浜ジュニアクラブ

ジュニアダブルス U - 17 男子				ジュニアダブルス U - 17 女子			
1	山根稔平 根本大地	奈良	高田商業高校	1	林田リコ 宮下こころ	東京	文化学園大学杉並高校
2	北本達己 林湧太郎	奈良	高田商業高校	2	笠井菜々子 森本彩鼓	広島	広島修道大学附属鈴峯女子高校
3	鈴木竜弥 北野亮介	宮城	東北高校	3	竹田真樹 久保晴華	三重	三重高校
3	澤田吉広 池口季将	山形 奈良	酒田第三中学校 王寺中学校	3	島津佳那 小林愛美	東京	千代田女学園高校 文化学園大学杉並高校

ジュニアダブルス U - 20 男子				ジュニアダブルス U - 20 女子			
1	安藤優作 星野慎平	日本学連	早稲田大学	1	貝瀬ほのか 古田麻友	和歌山	和歌山信愛高校
2	因京将 中平慎吾	日本学連	早稲田大学 明治大学	2	中村彩乃 吉原花海	東京	文化学園大学杉並高校
3	立木雅也 米澤要	日本学連	明治大学	3	宮下真緒 上田理央	東京	文化学園大学杉並高校
3	丸岡俊介 宮田裕章	日本学連 岐阜	明治大学 太平洋工業	3	笠井佑樹 尾上胡桃	日本学連	日本体育大学

男子シングルス				女子シングルス			
1	増田健人	和歌山	和歌山県庁	1	徳川愛美	東京	ヨネックス
2	長江光一	広島	NTT西日本広島	2	林田リコ	東京	文大杉並高校
3	船水雄太	広島	NTT西日本広島	3	貝瀬ほのか	和歌山	和歌山信愛高校
3	船水颯人	日本学連	早稲田大学	3	志牟田智美	兵庫	神戸松蔭女子学院大学
5	井口雄介	宮崎	スマッシュイグチクラブ	5	平久保安純	日本学連	早稲田大学
5	因京将	日本学連	早稲田大学	5	横山温香	愛知	アドマテックス
5	金子大祐	奈良	高田商業高校	5	小谷菜津美	福島	ダンロップ
5	広岡宙	大阪	上宮高校	5	榎本有花	広島	どんぐり北広島

平成28年度 ソフトテニスランキング

大 学 男 子				大 学 女 子			
1	船水 颯人 吉川 純平	日本学連	早稲田大学	1	志牟田 智美 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
2	立木 雅也 平井 裕之	日本学連	明治大学	2	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
3	中平 慎吾 米澤 要	日本学連	明治大学	3	望月 友美佳 小谷 真由	日本学連	明治大学
3	西森 一貴 真野 文暁	日本学連	同志社大学	3	那須 暁帆 徳田 杏菜	日本学連	東京女子体育大学
5	井原 陽平 山本 祐輝	日本学連	同志社大学	5	永井 里佳 上原 由佳	日本学連	早稲田大学
5	梅澤 史人 安積 宗芳	日本学連	東海大学	5	山本 沙奈 花園 優帆	日本学連	早稲田大学
5	岡本 光生 榑原 耕平	日本学連	日本体育大学	5	羽渕 沙由里 高杉 梨奈	日本学連	東京女子体育大学
5	新子 徹 古田 尚也	日本学連	同志社大学	5	小山 舞 草野 絵美菜	日本学連	早稲田大学

平成28年度 ソフトテニスランキング

高 校 男 子				高 校 女 子			
1	本倉 健太郎 上松 俊貴	岡山	岡山理科大学附属高校	1	林田 リコ 宮下 こころ	東京	文化学園大学杉並高校
2	山根 稔平 根本 大地	奈良	高田商業高校	2	宮下 真緒 上田 理央	東京	文化学園大学杉並高校
3	溝端 亮二 金子 大祐	奈良	高田商業高校	3	中村 彩乃 吉原 花海	東京	文化学園大学杉並高校
3	田邊 雅人 内田 理久	三重	三重高校	3	貝瀬 ほのか 古田 麻友	和歌山	和歌山信愛高校
5	米吉 陸 飯田 脩三	奈良	高田商業高校	5	笠井 菜々子 森本 彩鼓	広島	広島修道大学附属鈴峯女子高校
5	田辺 啓人 小宮山 健斗	山梨	笛吹高校	5	原口 美咲 久保 菜月	福岡	中村学園女子高校
5	上岡 俊介 広岡 宙	大阪	上宮高校	5	黒田 奈穂子 大塚 香菜	岡山	就実高校
5	谷口 睦 三輪 惇平	奈良	高田商業高校	5	館 桃香 宮本 菜月	千葉	植草学園大学附属高校
9	磯貝 真吾 松山 晃介	三重	三重高校	9	足立 みな実 徳田 玲奈	京都	京都光華高校
9	小出 尚典 古賀 亮志	三重	三重高校	9	鈴木 愛香 保科 葵	新潟	北越高校
9	加藤 裕喜 佐藤 勇乃介	三重	三重高校	9	阪本 唯 津本 く美	京都	福知山成美高校
9	北野 亮介 鈴木 竜弥	宮城	東北高校	9	阿久根 麻尋 根岸 桃亜奈	大阪	昇陽高校
9	下平 健三郎 早坂 隆之介	宮城	東北高校	9	森山之乃華 永野 晏梨	福岡	中村学園女子高校
9	渡邊 健太 大関 渉太郎	奈良	高田商業高校	9	本城 琴都 花岡 愛	和歌山	和歌山信愛高校
9	佐藤 辰哉 川上 史弥	香川	尽誠学園高校	9	栗原 桃香 矢多部 美弥	広島	広島翔洋高校
9	坂本 信治 森 亜斗夢	北海道	北海道科学大学高校	9	片野 理音 小松 芹奈	宮城	東北高校

平成28年度 ソフトテニスランキング

中 学 男 子				中 学 女 子			
1	高木 智也 津田 知紀	島根	松江第四中学校	1	長谷川 憂華 立花 さくら	岡山	山陽女子中学校
2	赤川 修太 山中 柊苒	大阪	上宮中学校	2	河村 笑花 永田 玲奈	岐阜	祝坂中学校
3	濱田 倫太郎 端山 羅行	石川	中能登中学校	3	徳永 栞波 吉川 友菜	岡山	山陽女子中学校
3	岡安 義貴 岡安 龍貴	埼玉	杉戸中学校	3	竹和 華 保科 知里	群馬	中之条中学校
5	佐藤 大晴 岩間 大輝	秋田	森吉中学校	5	佐古 香織 藤城 みちる	愛知	加木屋中学校
5	森口 聖士 曾山 結心	石川	中能登中学校	5	水澤 奈央 富樫 春菜	新潟	築地中学校
5	渡辺 大凱 内藤 慎思	東京	上一色中学校	5	北本 瑞貴 高松 沙也花	石川	寺井中学校
5	赤羽 健実 赤羽 風吾	長野	辰野中学校	5	杉山 歌音 浅見 今日子	広島	広島修道大学附属鈴峯女子中学

小 学 男 子				小 学 女 子			
1	菊山 太陽 團野 佑紀	三重	津ジュニアクラブ	1	中野 莉子 松岡 琴美	兵庫	上郡ジュニアクラブ 生野ジュニアクラブ
2	松本 椿 大田 優	鳥取	黒坂ジュニア	2	前田 梨緒 望月 聖那	兵庫	姫路ジュニアクラブ
3	相澤 波月 黒坂 卓矢	埼玉	わかくさ	3	高島 萌果 宗形 茉鈴	東京	稲城ジュニアクラブ 成瀬ジュニアクラブ
3	源川 大遥 清水 唯冬	新潟	見附市スポーツ少年団	3	林 李々花 畑中 望来	和歌山	美浜ジュニアクラブ
5	坪井 勇希 坪井 柊飛	新潟	見附市スポーツ少年団	5	山本 乙葉 長谷川 美波	鳥取	根雨 Jr. クラブ 東山ジュニア
5	中川 雄太 小松 隼士	山口	下松ジュニアクラブ	5	柴田 明 谷口 舞優	山形	真室川ジュニア
5	宮本 陸 山道 悠生	石川	七尾ジュニアクラブ	5	小柴 心寧 轡田 愛	富山	WING射水スポーツ少年団
5	大和 昌生 山中 一世	東京	稲城ジュニアクラブ	5	天間 美嘉 重久 友紀	青森	東北町ジュニアクラブ

国際大会入賞者

第8回アジアソフトテニス選手権大会 (2016/日本・千葉市)

1 国別対抗

団長：北本 英幸

優勝

日本男子チーム

監督：斉藤 広宣 コーチ：中堀 成生 トレーナー：川上 晃司

選手：水澤悠太 長江光一 増田健人 船水颯人 篠原秀典 小林幸司

準優勝

日本女子チーム

監督：田中 弘 コーチ：高川 経生 トレーナー：吉川 友巳奈

選手：森田奈緒 神谷絵梨奈 徳川愛実 平久保安純 中川瑞貴 森原可奈

2 男子ダブルス

優勝

船水颯人・上松俊貴

準優勝

内本隆文・丸山海斗

第三位

水澤悠太・長江光一 篠原秀典・小林幸司

3 女子ダブルス

優勝

中川瑞貴・森原可奈

準優勝

森田奈緒・神谷絵梨奈

第三位

徳川愛実・平久保安純

4 ミックスダブルス

優勝

船水颯人・佐々木聖花

5 男子シングルス

優勝

内本隆文

第三位

増田健人

7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業

(1) 技術等級の認定を次のとおり行った。(数値：名)

等級	名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	計
平成 28 年度	0	0	73	23	335	22	307	1,045	1,551	3,094	6,450
平成 27 年度	0	0	79	19	360	24	328	1,179	1,507	3,316	6,812

(注) 平成 27 年度都道府県別認定者数は別表 2 (P54) に掲載

(数値：名)

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人 数	6,693	6,527	6,916	6,715	6,812	6,450

(2) 技術等級システムを活用して認定手続きを行い資格者管理の効率化を図り、大会申込システムと連動して大会参加資格のチェックを行った。

(3) 技術等級資格取得者を増大するため、大会実績による取得の見直しを図った。

8. ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業

(1) 公認審判員の認定を次のとおり行った。(数値：名)

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
マスター レフェリー		60	71	41	58	60	78
マスター アンパイヤー		18	46	45	42	70	62
1 級		261	232	215	248	284	282
2 級	一 般	9,077	9,507	9,380	9,229	10,389	9,920
	高 校	17,574	19,665	18,628	20,256	21,331	22,474
ジュニア		31,318	39,746	36,545	39,657	39,321	40,171
計		57,308	66,267	64,854	69,490	71,455	72,987

(注) 平成 28 年度都道府県別認定者数は別表 3 (P55) に掲載

(2) 1 級審判員の検定会 (参加者：94 名) と研修会 (参加者：169 名) を、次のとおり実施した。

	実施期日	会 場	参加者(名)
検定会	平成 29 年 1 月 21 日～22 日	東京都・品川区立総合体育館	50
	平成 29 年 2 月 18 日～19 日	愛媛県・菊間緑の広場公園総合体育館	44
研修会	平成 28 年 12 月 17 日	大分県・大原総合体育館	18
	平成 29 年 1 月 14 日	三重県・AGF 鈴鹿体育館	10
	平成 29 年 1 月 21 日	群馬県・安中市総合体育館	35
	平成 29 年 1 月 22 日	徳島県・徳島市 B&G 海洋センター	17
	平成 29 年 1 月 29 日	石川県・北陸電力石川体育館	18
	平成 29 年 2 月 4 日	京都市・島津アリーナ京都	17
	平成 29 年 2 月 26 日	島根県・島根県立体育館	11
	平成 29 年 3 月 12 日	秋田県・秋田テルサ	43

(3) ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等を販売ならびに配布した。

(数値：冊数)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエロー カード等	ジュニア審判 マニュアル
平成 28 年度	25,371	3,908	786	25,421	44,863
平成 27 年度	24,802	3,618	1,241	24,812	43,155

(4) 審判員バンク及び派遣審判員制度の確立と研修

審判員バンク及び派遣審判員規定(案)の作成を行った。

(5) 審判認定システムの活用と大会参加資格の確認

審判認定システムを活用した認定手続きの実施と資格者管理の効率化の推進、大会申込システムとの連動による大会参加資格の確認を行った。

9. ソフトテニス用具・用品、施設の公認

(1) 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行った。

①以下の新規公認を行った。

豊貿易株式会社	ネット
フォワードアパレルトレーディング株式会社	シューズ

②以下の公認辞退があった。

ヒロウン株式会社	ラケット
----------	------

③更新手続きを承認した。

(P46～P47 (3)維持会費ア.公認メーカー イ.施設業者を参照)

④ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。

(数値：枚)

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ラケット証紙	411,988	431,977	460,146	396,825	429,345	359,560
ネット証布	1,124	3,100	3,400	2,800	2,650	2,700

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上

*世界No.1の競技力の維持を目指して次の事業を実施した。

1) 競技者育成プログラムの推進

・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムを Step1 から Step5 の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。①、②はスポーツ振興くじ助成金の対象事業、③はスポーツ拠点化助成事業として実施。

①Step-1,2 47 都道府県で強化事業を実施した。

〈各支部に対して、400,000 円を助成した。〉

②Step-3 (U-14・U-17・U-20/男・女) が 8 ブロックで下記のとおり行われ、強化練習会・選考会を実施した。

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリ-別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	9/2～9/4	168	7	28	4	4	1	1	213
関 東 (埼玉県・熊谷市)	8/26～28	190	8	32	4	4	1	1	240
北信越 (石川県・小松市)	8/26～28	120	5	20	4	4	1	1	155
東 海 (三重県・四日市市)	8/28～30	96	3	16	3	3	1	1	123
近 畿 (和歌山県・和歌山市)	8/26～28	144	6	24	4	4	1	1	184
中 国 (広島県・三次市)	8/26～28	117	5	20	3	4	1	1	151
四 国 (徳島県・徳島市)	8/26～28	96	4	16	4	4	1	1	126
九 州 (熊本県・熊本市)	8/26～28	190	8	32	4	4	1	1	240
合 計		1,121	46	188	30	31	8	8	1,432

※スポーツ振興くじ助成金の対象事業として 48,720,000 円の助成を受けた。

③第 11 回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム (Step-4)」を
下記のとおり実施した。

期 日：11 月 25 日・28 日 (強化練習会兼選考会)

11 月 26 日～27 日 (第 11 回ジュニアジャパンカップ)

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート・久峰総合運動公園テニスコート

選 手：U-14 (男子：44 名・女子：40 名) 計 84 名

U-17 (男子：42 名・女子：42 名) 計 84 名

U-20 (男子：29 名・女子：34 名) 計 63 名

指 導 者：24 名 (各カテゴリーの男女別に 4 名)

運営委員：100 名

- ・ Step-5 全日本 U-14,U-17,U-20 として強化合宿を実施した。
- ・ 一貫指導システム確立のための指導理念、指導法ならびに指導内容を検討した。
- ・ 競技者育成プログラムを推進するために指導マニュアルを活用して推進した。
- ・ 平成 26 年度に作成した指導教本の更なる活用を図った。

2) 日本代表チーム、ナショナルチーム及びアンダーチームの強化合宿

①日本代表チームおよびナショナルチーム (男子、女子) の強化合宿を次のとおり実施した。

	回数	実施期日	参加者(名)		会 場
			スタッフ	選手	
代表 (男女合同)	☆①	平成 28 年 6 月 3 日～8 日	6	23	福岡県・北九州市
	☆②	平成 28 年 6 月 30 日～7 月 5 日	6	24	山口県・宇部市
	③	平成 28 年 9 月 15 日～20 日	6	24	千葉県・千葉市
	④	平成 28 年 11 月 11 日～15 日	6	24	千葉県・千葉市

ナショナル	男子	☆①	平成 28 年 4 月 27 日～5 月 2 日	3	23	大阪府・大阪市
		②	平成 29 年 3 月 16 日～21 日	3	16	宮崎県・宮崎市
	女子	☆①	平成 28 年 4 月 27 日～5 月 2 日	3	22	大阪府・大阪市
		②	平成 29 年 3 月 16 日～21 日	3	20	宮崎県・宮崎市

②全日本 U-14. U-17. U-20 (男子、女子) 強化合宿を次のとおり実施した。

	カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会場	
			スタッフ	選手		
男子	U-20	1	平成 28 年 6 月 10 日～12 日	2	9	宮城県・仙台市
		2	平成 29 年 2 月 21 日～26 日	3	14	三重県・四日市市
	U-17	☆1	平成 28 年 4 月 15 日～20 日	3	20	京都府・城陽市
		② (日韓中ジュニア代表チーム)	平成 28 年 8 月 20 日～22 日	3	6	千葉県・香取市
		3	平成 29 年 2 月 21 日～26 日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	☆①	平成 28 年 5 月 20 日～25 日	3	20	三重県・鈴鹿市
2		平成 29 年 2 月 21 日～26 日	3	20	三重県・四日市市	
女子	U-20	☆1	平成 28 年 6 月 28 日～7 月 3 日	3	9	香川県・丸亀市
		☆2	平成 29 年 1 月 31 日～2 月 5 日	3	16	滋賀県・長浜市
	U-17	☆1	平成 28 年 4 月 8 日～13 日	2	18	三重県・鈴鹿市
		② (日韓中ジュニア代表チーム)	平成 28 年 8 月 20 日～22 日	3	6	千葉県・香取市
		☆3	平成 29 年 1 月 31 日～2 月 5 日	3	20	滋賀県・長浜市
	U-14	☆①	平成 28 年 5 月 20 日～25 日	3	20	三重県・鈴鹿市
		☆2	平成 29 年 1 月 31 日～2 月 5 日	3	20	滋賀県・長浜市

(注 1) ☆印は (公財) 日本オリンピック委員会の補助事業である。(14, 223, 000 円)

(注 2) ○印の合宿は男女合同で実施した。

3) 競技力向上のための海外遠征

・次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図った。

*マレーシア インターナショナルオープン&ジュニアソフトテニス選手権 2016

マレーシアにおいて 4 月 29 日～5 月 1 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

監督	安達和紀 (全日本アンダー14 女子チーム監督)	
コーチ	浅川陽介 (全日本アンダー20 男子チームコーチ)	
トレーナー	兼平智孝 (全日本アンダー14 男子チームトレーナー)	
男子選手	因京将 (早稲田大学)	米澤 要 (明治大学)
	溝端亮二 (高田商業高校)	金子大祐 (高田商業高校)
	中別府凌 (大津中学校)	藤久雄士 (荒井中学校)

女子選手	笠井佑樹（日本体育大学） 黒田麻衣（ヨネックス） 貝瀬ほのか（和歌山信愛） 吉田栞里（昇陽高校） 佐古香織（加木屋中学校） 藤城みちる（加木屋中学校）
イ. 参加国	日本、韓国、台湾、マレーシア、モンゴル、フィリピン、 インドネシア、カンボジア、ベトナム、タイ
ウ. 成績	U15 男子ダブルス 優 勝 中別府凌・藤久雄士 U15 女子ダブルス 優 勝 佐古香織・藤城みちる U18 男子ダブルス 準優勝 金子大祐・溝端亮二 U18 女子ダブルス 優 勝 貝瀬ほのか・吉田栞里 U21 男子ダブルス 優 勝 因京将・米澤要 U21 女子ダブルス 優 勝 笠井佑樹・黒田麻衣 男子ダブルス 優 勝 因京将・米澤要 第二位 中別府凌・藤久雄士 第三位 金子大祐・溝端亮二 女子ダブルス 優 勝 貝瀬ほのか・吉田栞里 第三位 笠井佑樹・黒田麻衣 U15 女子シングルス 優 勝 佐古香織 準優勝 藤城みちる U18 男子シングルス 優 勝 金子大祐 準優勝 溝端亮二 U18 女子シングルス 優 勝 貝瀬ほのか 準優勝 吉田栞里 U21 男子シングルス 優 勝 米澤要 第三位 因京将 U21 女子シングルス 優 勝 笠井佑樹 準優勝 黒田麻衣 男子シングルス 第三位 米澤要 第三位 金子大祐 女子シングルス 優 勝 貝瀬ほのか 準優勝 吉田栞里

* 第 15 回チャイナカップ

中国・湖北省において、6 月 18 日（木）～6 月 24 日（金）まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長兼男子監督	北本英幸（強化委員長）
女子監督	安達和紀（全日本アンダー14 女子チーム監督）
トレーナー	中野道治（全日本アンダー17 男子チームトレーナー）
男子選手	丸山海斗（明治大学） 中平慎吾（明治大学） 米澤 要（明治大学） 丸岡俊介（明治大学）

	立木雅也 (明治大学)	小田桐崇康 (中央大学)
女子選手	鈴木梨沙 (明治大学)	那須暁帆 (東京女子体育大学)
	泉谷朋香 (東芝姫路)	富田真愛 (どんぐり北広島)
	尾上胡桃 (日本体育大学)	笠井佑樹 (日本体育大学)
イ. 参加国	日本、中国、韓国、中華台北、北朝鮮、フィリピン	
ウ. 成績	国別対抗戦	女子：優勝
	男子シングルス	第三位：丸山海斗
	女子シングルス	第三位：泉谷朋香
		第三位：笠井佑樹
	女子ダブルス	優勝：笠井佑樹・尾上胡桃
		第三位：富田真愛・泉谷朋香
	ミックスダブルス	優勝：富田真愛・丸山海斗
		準優勝：立木雅也・尾上胡桃
		第三位：那須暁帆・米澤要

*第23回日・韓・中ジュニア交流競技会 (ソフトテニス)

中国浙江省寧波市において、8月23日(火)～8月29日(月)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長	本田茂雄 (日本連盟副会長)	
男子監督	池田征弘 (全日本アンダー17男子チーム監督)	
女子監督	高井志保 (全日本アンダー17女子チーム監督)	
トレーナー	橋本貴子 (全日本アンダー17女子チームトレーナー)	
男子選手	廣岡宙 (上宮高校)	上岡俊介 (上宮高校)
	後藤佳佑 (早稲田実業高等部)	溝端亮二 (高田商業高校)
	内田理久 (三重高校)	上松俊貴 (岡山理科大学附属高校)
女子選手	貝瀬ほのか (和歌山信愛高校) 下江遥花 (和歌山信愛高校)	
	吉田栞里 (昇陽高校)	上田理央 (文化学園大学杉並高校)
	林田リコ (文化学園大学杉並高校)	島津佳那 (千代田女子学園高校)

イ. 参加チーム 日本、韓国、中国、済州島

ウ. 成績 男子：優勝 女子：優勝

*コリアカップ

韓国・仁川市において8月23日～29日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

男子監督	中津川澄男 (全日本アンダー20男子チーム監督)	
女子監督	高川経生 (日本代表女子チームコーチ)	
トレーナー	川上晃司 (日本代表男子チームトレーナー)	
男子選手	九島一馬 (ミズノ)	丸中大明 (NTT西日本)

	高月拓磨（ヨネックス）	船水雄太（NTT 西日本）
	内本隆文（早稲田大学）	丸山海斗（明治大学）
女子選手	柿崎あやの（ヨネックス）	黒木瑠璃華（ヨネックス）
	平久保安純（早稲田大学）	杉脇麻侑子（早稲田大学）
	佐々木聖花（早稲田大学）	森原可奈（東芝姫路）
イ．参加国	日本、韓国、ポーランド、中国、ベトナム、ラオス、コロンビア、タイ、インド、モンゴル、フィリピン	
ウ．成績	男子ダブルス	優勝 船水雄太・九島一馬 準優勝 内本隆文・丸山海斗
	男子シングルス	準優勝 内本隆文 第三位 九島一馬
	男子団体戦	優勝
	女子団体戦	準優勝

*第8回アジアソフトテニス選手権大会

千葉県・千葉市において11月16日～20日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア．選手団

団長	北本英幸（強化委員長）	
男子監督	斉藤広宣（日本代表男子チーム監督）	
男子コーチ	中堀成生（日本代表男子チームコーチ）	
男子トレーナー	川上晃司（日本代表男子チームトレーナー）	
女子監督	田中 弘（日本代表女子チーム監督）	
女子コーチ	高川経生（日本代表女子チームコーチ）	
女子トレーナー	吉川友巳奈（日本代表女子チームトレーナー）	
男子選手	長江光一（NTT 西日本広島）	水澤悠太（NTT 西日本広島）
	増田健人（和歌山県庁）	船水雄太（NTT 西日本広島）
	船水颯人（早稲田大学）	高月拓磨（ヨネックス）
	小林幸司（ミズノ）	篠原秀典（日体桜友会）
	上松俊貴（岡山理科大附属高校）	桂拓也（和歌山県庁）
	丸山海斗（明治大学）	内本隆文（早稲田大学）
女子選手	神谷絵梨奈（ヨネックス）	森田奈緒（ヨネックス）
	徳川愛実（ヨネックス）	平久保安純（早稲田大学）
	中川瑞貴（ナガセケンコー）	森原可奈（東芝姫路）
	柿崎あやの（ヨネックス）	黒木瑠璃華（ヨネックス）
	杉脇麻侑子（早稲田大学）	佐々木聖花（早稲田大学）
	深澤昭恵（東芝姫路）	泉谷朋香（東芝姫路）
イ．参加国	日本、カンボジア、中国、インド、インドネシア、カザフスタン、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、中華台北、タ	

ジギスタン、タイ、ベトナム

ウ. 成績	男子国別対抗	優 勝	
	女子国別対抗	準優勝	
	男子ダブルス	優 勝	船水颯人・上松俊貴
		準優勝	内本隆文・丸山海斗
		第三位	水澤悠太・長江光一
		第三位	篠原秀典・小林幸司
	女子ダブルス	優 勝	中川瑞貴・森原可奈
		準優勝	森田奈緒・神谷絵梨奈
		第三位	徳川愛実・平久保安純
	ミックスダブルス	優 勝	船水颯人・佐々木聖花
	男子シングルス	優 勝	内本隆文
		第三位	増田健人

*第6回タイオープン国際ソフトテニス選手権大会

タイ・バンコクにおいて2月28日～3月4日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団 長	野際照章（専務理事）	
男子選手	安藤優作（早稲田大学）	丸山海斗（明治大学）
女子選手	若田実友子（東芝姫路）	泉谷朋香（東芝姫路）

イ. 参加国

ウ. 成績	男子ダブルス	優 勝	安藤優作・丸山海斗
	女子ダブルス	優 勝	若田実友子・泉谷朋香
	男子シングルス	優 勝	安藤優作
	女子シングルス	優 勝	泉谷朋香
		準優勝	若田実友子
	ミックスダブルス	優 勝	若田実友子・丸山海斗
		準優勝	安藤優作・泉谷朋香

4) 強化スタッフの各種大会視察

・強化スタッフ・強化委員を次のとおり各種大会に派遣した。

大会名	派遣者
全日本シングルス選手権大会	斉藤広宣・中堀成生・田中弘・高川経生・小野寺剛
ハイスクールジャパンカップ	高橋茂・柴田真弓
全日本学生選手権大会	中津川澄男
全日本小学生選手権大会	松元誠二・安達和紀
全国中学校大会	安達和紀・橋本康徳
インターハイ	高井志保

全日本ジュニア選手権大会	池田征弘・高橋茂・高井志保・柴田真弓・海江田佐奈美・橋本康徳
全日本選手権大会	斉藤広宣・中堀成生・田中弘・高川経生・浅川陽介・伊加英隆・中津川澄男
全日本高等学校選抜大会	高橋茂
都道府県対抗全日本中学生大会	安達和紀

(2) 医科学研究調査

- ① 医科学スタッフによるサポート事業を実施した。
 - ・国内大会での撮影及び映像分析を行い、強化合宿において指導した。
 - ・国内大会でトレーナーズテントを設営し、選手の活動支援を行った。
 - ・全日本アンダーチーム、ナショナルチーム、日本代表チームの合宿時にメディカルチェックを実施し、選手の健康管理と指導を行った。
 - ・強化選手へのメンタルトレーニングを行った。
 - ・強化選手を対象に栄養調査を実施し、その分析結果をもとに指導した。
 - ・国際大会派遣に帯同し、情報収集・分析・フィードバックを行った。
- ② 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。
- ③ 医科学研究報告書を作成・発行し、指導現場に役立てた。
- ④ JISS における TSC 事業での検査・測定を行った。
- ⑤ 選手教育資料としてのコンディショニングバイブルの改訂を行った。
- ⑥ 公認コーチ養成講習会における講師協力を行った。

(3) アンチ・ドーピング

- ① アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動
 - ・(公財) 日本アンチ・ドーピング機構と連携して、ホームページや大会要項等への情報掲載や強化合宿での指導等、ドーピング防止の普及啓発活動を実施して、スポーツの公平性を競技者に理解させ健全な精神の育成を図った。
 - ・Step-4 会場においてアウトリーチプログラムを実施し、アンダー世代の選手への教育・啓発活動を図った。
- ② 国内大会におけるドーピング検査の実施
 - ・全日本シングルス選手権大会、全日本選手権大会、全日本インドア選手権大会で実施し、日本スポーツ振興センターより助成を受けた。(助成金 3,826,000 円)
- ③ 国際連盟およびアジア連盟と連携してのアンチ・ドーピング活動の推進を図った。
 - ・平成 28 年 11 月に千葉市で開催されたアジアソフトテニス選手権大会にて国際ソフトテニス連盟が実施した競技内ドーピング検査に協力した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成

①指導者養成事業の推進

- ・指導者養成講習会を次のとおり実施した。
 - ア. 指導員養成講習会専門科目開催事業 9 会場

実施都道府県

北海道、山形県、山梨県、新潟県、石川県、静岡県、京都府、奈良県、熊本県
イ. スポーツ専門学校 1 会場

履正社医療スポーツ専門学校

- ・指導者養成講習会（各都道府県連盟）を「公認スポーツ指導者養成マニュアル」を活用して積極的に実施し、公認スポーツ指導者の拡大を図り、地域の普及活動を充実させた。
 - ・公認スポーツ指導者の活用方法の検討を行った。
 - ・中・高等学校指導者育成のための方策を検討した。
 - ・平成 26 年度に作成した指導教本「最新版ソフトテニス指導教本」の更なる活用を図った。
- ②全国小学生・中学生・高校生の指導者の合同研修会を実施した。
- ・日程：平成 29 年 2 月 18 日（土）・19 日（日）
 - ・場所：大阪アカデミア
 - ・参加人数：役員 27 名、指導者 139 名、合計 166 名
 - ・研修内容
 - ア. 小学生、中学生、高校生へのソフトテニス活動における課題の改善を検討した。
 - イ. 強化委員長より第 8 回アジア選手権大会結果と分析が報告された。
 - ウ. 医科学委員長がアスリートにおける心理サポートについて講義した。
 - エ. トレーナー部会長がトレーニングの重要性と各年代にあったトレーニング方法について講義した。
 - オ. 指導上の悩みと解決プランについて、指導対象および地域を越えたグループによってディスカッションを行った。

※スポーツ振興基金助成金の対象事業として、1,161,000 円の助成を受けた。

③指導者バンク（日本連盟）の活用推進

競技者育成プログラムおよび指導者養成推進等のため日本連盟として指導者バンクを活用した。

- ・日本連盟指導者バンク登録指導者の活用
 - Step-5 におけるナショナルチームや全日本アンダーチームの監督、コーチとして活用。
 - Step-4 における各カテゴリーの指導者として活用。
 - Step-3 における支部代表指導者または日本連盟指導者として活用。

④指導者バンク（地域）の活用推進

- ・積極的に指導者バンク（地域）を活用して、競技者育成プログラム（Step-1, 2）の推進及び中学、高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者の確保に努力した。
- ・ジュニア層指導者の資格取得を促進した。（指導員・審判・技術等級）

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

- ① 国際組織（ISTF, ASTF）内での指導的立場に基づく国際性の向上を図った。
- ② 用具の提供、流通の促進を図った。

* 用具・用品の支援

・ボール＝ 135 打、ラケット＝200 本、ネット＝20 張

《送付先》アジア選手権、 코리아カップ、ワタキューカップ大会、アジア加盟国会議時に普及国に対しラケット・ボールを支援した。

③ 普及指導用諸教材の活用を行い、国際振興に役立てた。

- ・ジュニア用教材の英語版の作成を行った。(平成 29 年度に製本予定)
- ・紹介用プレゼンテーション DVD、紹介用パンフレットを活用した。
- ・技術指導 DVD (基礎技術、応用技術、練習方法、競技、審判各編)、解説書等を活用した。
- ・諸規定集 (ルールブック、審判 DVD 等) を活用した。

④ 国際普及親善活動に結びつく支部等の活動に対して、「国際親善大会補助」として助成した。

北海道連盟、宮城県連盟、埼玉県連盟、福井県連盟、静岡県連盟、京都府連盟、広島県連盟、山口県連、香川県連、福岡県連、日本学生連盟、近畿連盟、日本シニア協議会

(2) 国際指導体制、審判体制の充実

① 国際指導員制度 (ASTF) と国際審判員制度 (ASTF) を推進した。

② アジア選手権大会時に、アジア各国から国際審判員 24 名を派遣し、また中国からの派遣審判員を国際審判員として認定した。

(3) 国際大会の開催促進

* 国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営を支援した。

- ① 2016 年 4 月 28 日～5 月 2 日までマレーシアで開催の国際ジュニア選手権大会に笠井専務理事、丹崎国際委員長が出張し、マレーシア連盟役員と大会開催及び普及活動を行った。
- ② 2016 年 6 月 19 日～6 月 22 日までチャイナカップ大会に笠井副会長と丹崎国際委員長が出張し、中国連盟役員と今後の国際大会等の打ち合わせを行った。
- ③ 2016 年 10 月 29 日～10 月 31 日に韓国へ安道会長、野際専務理事、丹崎国際委員長が出張し、国際ソフトテニス連盟執行委員会会議に出席した。
- ④ 2016 年 11 月 6 日～11 月 8 日まで韓国へ笠井副会長、野際専務理事、玉木国際委員長が出張し、第 8 回アジア選手権大会等について韓国ソフトテニス連盟と打ち合わせを行った。
- ⑤ 2017 年 1 月 10 日～1 月 13 日にマレーシア、インドネシアへ笠井副会長、丹崎国際委員長、武井氏と出張し、大会開催およびインドネシアで開催予定のアジア競技大会などについて連盟役員、行政と打合せを行った。
- ⑥ 2017 年 2 月 15 日～2 月 17 日にフィリピンへ笠井副会長、丹崎国際委員長が出張し、フィリピンでの大会開催および国際普及について協議を行った。
- ⑦ 2017 年 2 月 26 日～2 月 28 日に中国へ安道会長、笠井副会長、野際専務理事、丹崎国際委員長、玉木国際委員長が出張し、アジアソフトテニス連盟執行会議に出席し、2018 年に開催のアジア競技大会、2020 年に開催のアジア選手権大会について等の打ち合わせを行った。
- ⑧ 2017 年 3 月 3 日～3 月 6 日までインドネシアで開催されるアジア競技大会の TD (テクニカルデレゲート) 会議の為、丹崎国際委員長が出張した。

(4) 国際組織 (ISTF、ASTF) への活動

- ① アジアソフトテニス連盟加盟国会議を平成 28 年 5 月 18 日、19 日の 2 日間、福岡県北九州市 (北九州コンファレンスセンター) にて開催した。出席国・地域は中国・韓国・香

港・インド、インドネシア、カザフスタン、マレーシア、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、マカオ、中華台北、タイ、ベトナム、ラオス、タジキスタン、カンボジア、日本の19ヶ国・地域。アジア連盟規約などについて検討・討議を行った。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化〕

I. 組織と財政の強化

1. 組織と財政の強化の推進

公益財団法人としての高い社会的信用を維持し公益目的事業を行うために、組織体制の強化と財政運営に取り組んだ。

2. 環境と教育への取り組み

ソフトテニスを通じて環境教育と青少年健全育成に取り組んだ。

① 大会や強化事業を実施する際にごみの分別や、マイボトルの推進を図るなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に作る生活習慣を徹底した。

平成26年度に当連盟が作成した「環境宣言『来た時よりも美しく』・フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕や日本オリンピック委員会のポスターの掲出、プログラム等の掲載を実施し、環境とマナーの向上を図った。

② スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年が自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育める取り組みを推進した。
- ・試合終了後の握手の励行を行った。
- ・「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動を継続推進した。

3. 会員登録制度の推進

平成11年度に制定した会員登録制度も17年を経過した。IT化により実務の効率化と迅速化を図り、平成17年度から小・中学生も有料化、平成20年度からは会員登録料納付システムの導入を図ることにより本制度は定着した。そして、各支部を中心とした多くの関係者のご努力とご協力により順調に推進し、財政基盤も強固なものとなってきている。

① 会員登録制度の定着および充実

- ・制度の周知徹底を図り会員登録を定着させ、さらに推進した。

② 会員登録手続きの効率化

- ・会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図った。
- ・会員登録システム担当者引継袋の利用を徹底し、登録責任者の交替の際の登録事務引継の徹底と円滑化を図った。
- ・会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行った。
- ・会員登録システムに連動して実施した日本連盟主催大会申し込みのIT化に加え、平成27年度より開始した支部大会申込システムの活用を促進した。
- ・会員証及び会員報配布の各団体への直接送付を継続し、支部関係者の事務負担の軽減を図った。
- ・会員登録料納付システムの活用による会費および大会参加料等の早期かつ正確な納付

による円滑な資金管理を推進した。

③ 会員報の発行

- ・年2回(9月、2月)会員報を発行して会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。

④ 登録状況の把握と改善

- ・支部別及び階層別の団体数と会員数等を把握した。
- ・会員登録有料化からの階層別会員登録推移の検証・分析を実施した。

4. 暴力行為の根絶

- ・「公益財団法人日本体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り暴力の根絶の徹底を図っている。
- ・暴力行為の根絶のため、平成25年12月1日に制定した指導基本規程に基づき、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、違反救済申立処理委員会を各支部（各都道府県連盟、日本学連、全国高体連、日本中体連）に、違反救済審査委員会を日本連盟に平成26年4月1日より設置し、指導基本規程等諸規程に従った対応を図った。

5. 2020年東京オリンピックに向けてソフトテニスを広くアピールするための広報活動

2020年東京オリンピックに向けてソフトテニスを広くアピールするための広報活動として製作した指導教本(DVD BOOK)、映画、漫画を活用した。映画「案山子とラケット」については各支部での非劇場公開を促進し、実施支部には補助金を支給することとした。併せ2020年東京オリンピックを契機として、ソフトテニスの国際普及・振興を図るため、真に競技スポーツと生涯スポーツを併せ持つソフトテニスの祭典の日本での実現を目指すべく検討を行った。

6. 長期基本計画2017の策定

平成28年度は長期基本計画2012(平成24年度～28年度)の最終年であり、その進捗状況を把握し、着実に推進した。その上で新たな計画として平成28年12月に「長期基本計画2017」を策定した。

〔庶務事項〕

1. 評議員会に関する事項

(1) 定時評議員会

ア. 期 日 平成28年6月12日(日) 正午 開会

イ. 会 場 アワーズイン阪急 ツイン館4階「第1・第2」会議室

ウ. 決議事項

- ①平成27年度事業報告書(案)および決算報告書(案)について
- ②平成28年度第1次補正予算(案)について
- ③定款の変更について
- ④評議員の選任について
- ⑤役員を選任について

(2) 臨時評議員会

ア. 期 日 平成28年12月4日(日) 午前9時30分 開会

イ. 会 場 アワーズイン阪急 シングル館3階「A・B」会議室

ウ. 決議事項

- ①評議員の選任について
- ②平成 28 年度第 2 次補正予算書（案）について
- ③大会要項の改訂について
- ④長期基本計画 2017（案）について
- ③平成 29 年度事業計画書（案）について
- ④平成 29 年度収支予算書（案）について
- ⑤平成 29 年度評議員会日程について

2. 理事会に関する事項

(1) 第 1 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 5 月 21 日（土）正午 開会
- イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議決事項

- ①平成 27 年度事業報告書(案)および決算報告書(案)について
- ②平成 28 年度第 1 次補正予算（案）について
- ③定款の変更について
- ④規程の制定および改定について
- ⑤評議員の推薦について
- ⑥選考委員会開催および役員の改選について
- ⑦新規公認業者について
- ⑧公認規程の改定について

エ. 審議事項

- ①医科学委員会と関係部会の設置について
- ②第 8 回アジア選手権大会日本代表選手について
- ③岸記念体育会館移設に伴う事務所の検討について
- ④関西ワールドマスターズゲームについて
- ⑤映画「案山子とラケット」の非劇場公開について
- ⑥熊本地震への義援金について
- ⑦ソフトテニスマナーBOOKの会員への配布及び今後の展開について

(2) 第 2 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 6 月 11 日（土）正午 開会
- イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議決事項

- ①平成 28 年度定時評議員会提案事項の確認について
 - ・平成 27 年度事業報告書（案）および決算報告書（案）について
 - ・定款の変更について
 - ・役員の選任について
- ②組織体制の整備について
- ③用具・用品の公認申請について

(3) 第 3 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 6 月 12 日 (日) 午後 3 時 30 分 開会
イ. 会 場 アワーズイン阪急ツイン館 4 階第 6 会議室
ウ. 議決事項

①会長、副会長、専務理事および常務理事の選任について

(4) 第 4 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 7 月 9 日 (土) 正午 開会
イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
ウ. 議決事項

①専門委員会編成について

②参与の推薦について

(5) 第 5 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 11 月 3 日 (祝・木) 正午 開会
イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
ウ. 議決事項

①平成 28 年度第 2 次補正予算 (案) について

②大会要項の改訂について

③平成 29 年度事業計画 (案) について

④平成 29 年度収支予算 (案) について

⑤長期基本計画 2017 (案) について

⑥技術等級認定基準の改訂について

⑦用具・用品の公認申請について

エ. 審議事項

①平成 28 年度表彰者について

②第 66 回日本スポーツ賞について

③施設基準の改訂について

④日本スポーツマスターズ開催期間について

⑤ソフトテニスマナーBOOKについて

⑥平成 29 年度ナショナルチームの編成について

⑦平成 30 年アジア競技大会に向けた強化について

⑧平成 29 年度理事会および評議員会日程 (案) について

(6) 第 6 回理事会

- ア. 期 日 平成 28 年 12 月 3 日 (土) 正午 開会
イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
ウ. 議決事項

①平成 28 年度臨時評議員会提案事項について

・評議員の選任について

②用具・用品の公認申請について

③平成 29 年強化チーム (案) について

③第 61 回全日本インドア出場選手について

エ. 審議事項

- ①競技者育成プログラム Step-4 選考会チェック表の変更について
- ②平成 29 年度理事会日程（案）について

3. 業務執行理事会議に関する事項

(1) 第 1 回業務執行理事会議

- ア. 期 日 平成 28 年 4 月 18 日(月)
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議 題

- ①業務執行状況報告
- ②平成 28 年度第 1 回理事会および定時評議員会に向けて
- ③定款変更、規程改訂について
- ④役員改選について
- ⑤熊本大地震について

(2) 第 2 回業務執行理事会議

- ア. 期 日 平成 28 年 5 月 16 日(月)
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議 題

- ①業務執行状況報告
- ②平成 28 年度定時評議員会に向けて
- ③役員改選について
- ④熊本大地震について

4. 業務執行会議に関する事項

(1) 第 1 回業務執行会議

- ア. 期 日 平成 28 年 7 月 1 日(金) 11 時 開会
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議 題

- ①業務執行状況報告
- ②専門委員会編成について

(2) 第 2 回業務執行会議

- ア. 期 日 平成 28 年 10 月 11 日(火) 15 時 開会
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議 題

- ①業務執行状況報告
- ②国際振興について

(3) 第 3 回業務執行会議

- ア. 期 日 平成 28 年 11 月 2 日(水) 13 時 開会
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議 題

- ①業務執行状況報告

②第5回理事会について

5. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会（部会）名	会 場
4	5	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	5	広報委員会	日本連盟会議室
	9	強化委員会	三重高校
	10	強化委員会	三重高校
	16	競技委員会	日本連盟会議室
	16	プログラム編成部会	日本連盟会議室
5	6	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	14	強化委員会	明日香庭球場
	15	強化委員会	明日香庭球場
	18	国際委員会	北九州コンファレンスセンター
6	18	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	19	総務委員会	日本連盟会議室
	30	機関誌編集部会	日本連盟会議室
7	23	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	27	機関誌編集部会	日本連盟会議室
8	9	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	10	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	11	総務委員会	日本連盟会議室
	25	機関誌編集部会	日本連盟会議室
9	3	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	15	競技委員会	日本連盟会議室
	16	IT 部会	日本連盟会議室
	17	医科学委員会	フクダ電子ヒルスコート
	20	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	22	プログラム編成部会	日本連盟会議室
10	8	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	10	環境・教育プロジェクト	日本連盟会議室
	14	IT 部会	日本連盟会議室
	15	審判委員会	日本連盟会議室
	15	等級制度部会	日本連盟会議室
	16	用具・用品・施設委員会	日本連盟会議室

	17	生涯スポーツ委員会 小学生部会・シニア部会	日本連盟会議室
	22	強化委員会	宇部マテ“フレッセラ”テニスコート
	22	トレーナー部会	宇部マテ“フレッセラ”テニスコート
	30	会員登録制度部会	日本連盟会議室
	31	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	31	広報委員会	日本連盟会議室
11	19	医科学委員会・医学部会	蘇我コミュニティセンター
	29	機関誌編集部会	日本連盟会議室
1	9	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	10	トレーナー部会	ナショナルトレーニングセンター
	26	広報委員会	日本連盟会議室
	29	マネジメント部会	大阪府中央体育館
2	3	総務委員会	日本連盟会議室
	4	総務委員会	日本連盟会議室
	6	機関誌編集部会	日本連盟会議室
	25	プログラム編成部会	日本連盟会議室
	27	IT部会	日本連盟会議室
3	11	指導委員会	日本連盟会議室
	19	広報委員会	日本連盟会議室
	22	機関誌編集部会	日本連盟会議室

(2) 監査等が、次のとおり実施された。

月	日	事業内容	会場
5	14	公認会計士による会計監査	日本連盟会議室
5	15 16	監事による監査	日本連盟会議室
12	27	公認会計士による期中監査	日本連盟会議室

6. 役員・事務局職員に関する事項

(1) 平成28年度(4月1日～6月定時評議員会まで)

名誉会長・理事24名

役 職	氏 名
名誉会長	海 部 俊 樹

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体
会 長	表 孟 宏	学識経験者	理 事	安 藤 正 美	四 国
副 会 長	西 村 信 寛			白 水 厚 二	九 州
副 会 長	小 原 信 幸			八 木 橋 勉	全国高体連
専務理事	笠 井 達 夫			林 昭 文	日本中体連
常務理事	和歌浦 信雄	北 信 越		丹 崎 健 一	会 長 推 薦
	柳 下 秋 久	会 長 推 薦		神 崎 公 宏	
理 事	川 島 登	北 海 道・東 北		北 本 英 幸	
	石 川 雅 利	関 東		野 際 照 章	
	篠 邊 保	東 海		大 川 京 子	
	川 西 齋	近 畿		林 田 正 信	
	木 原 晴 彦	中 国		山 下 晴 海	
				玉 木 進	

(2) 平成28年度(4月1日～6月定時評議員会まで) 監 事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
井 上 清 一	石 川	萬 正 一	秋 田	山 本 毅	京 都

(3) 平成28年度(4月1日～6月定時評議員会まで) 評議員 50名

運上 琢 諭 (北海道)	新 保 俊 彦 (青 森)	宮 田 勤 (岩 手)
松 田 孝 志 (宮 城)	加 藤 育 広 (秋 田)	柏 倉 達 雄 (山 形)
小野間 幸 一 (福 島)	額 賀 富 雄 (茨 城)	大 久 保 忠 雄 (栃 木)
佐 藤 栄 一 (群 馬)	中 村 進 (埼 玉)	堀 越 浩 (千 葉)
佐 藤 健 司 (東 京)	笠 井 一 栄 (神 奈 川)	向 山 淳 (山 梨)
和歌浦 京 子 (新 潟)	堀 内 昭 (長 野)	高 辻 則 夫 (富 山)
眞 島 仁 志 (石 川)	川 畑 茂 (福 井)	落 合 敏 男 (静 岡)
澤 田 康 彦 (愛 知)	天 野 晴 夫 (三 重)	木 村 芳 雄 (岐 阜)
金 井 豊 (滋 賀)	増 木 博 一 (京 都)	友 谷 往 弘 (大 阪)
森 田 賢 二 (兵 庫)	西 森 卓 也 (奈 良)	花 田 一 弥 (和 歌 山)
安 東 健 司 (鳥 取)	大 地 本 一 到 (島 根)	竹 内 英 人 (岡 山)
大 前 秀 樹 (広 島)	秋 枝 正 文 (山 口)	岸 本 正 文 (徳 島)
木 下 恵 司 (香 川)	越 智 朗 (愛 媛)	横 江 忠 志 (高 知)
湯 田 純 孝 (福 岡)	豊 福 尚 弘 (佐 賀)	馬 場 信 幸 (長 崎)
岩 下 敏 和 (熊 本)	福 田 茂 (大 分)	當 瀬 純 一 (宮 崎)
山 口 純 生 (鹿 児 島)	宮 城 正 彦 (沖 縄)	宮 崎 正 巳 (日 学 連)
落 合 護 (高 体 連)	平 野 富 靖 (中 体 連)	

(4) 平成28年度(6月定時評議員会～平成30年度定時評議員会まで)

名誉会長・名誉副会長・理事25名

役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	海部 俊樹	名誉副会長	表 孟宏

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体	
会長	安道 光二	学識経験	理事	川西 斎	近畿	
副会長	小原 信幸			木原 晴彦	中国	
副会長	笠井 達夫			安藤 正美	四国	
副会長	本田 茂雄			白水 厚二	九州	
専務理事	野際 照章	会長推薦		八木橋 勉	高体連	
常務理事	柳下 秋久			林 昭文	中体連	
	丹崎 健一			会長推薦	林田 正信	
	北本 英幸	山下 晴海				
理事	川島 登	北海道・東北			佐藤 健司	
	石川 雅利	関東			井上 光子	
	和歌浦 信雄	北信越		上山 親子		
	篠邊 保	東海				

(5) 平成28年度(6月定時評議員会～平成30年度定時評議員会まで) 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
井上 清一	石川	萬 正一	秋田	山本 毅	京都

(6) 平成28年度(6月定時評議員会～平成32年度定時評議員会まで) 評議員 50名

運上 琢論 (北海道)	新保 俊彦 (青森)	宮田 勤 (岩手)
松田 孝志 (宮城)	加藤 育広 (秋田)	柏倉 達雄 (山形)
小野間 幸一 (福島)	額賀 富雄 (茨城)	大久保 忠雄 (栃木)
佐藤 栄一 (群馬)	中村 進 (埼玉)	堀越 浩 (千葉)
横山 隆二 (東京) ※	増田 大吾 (神奈川)	向山 淳 (山梨)
和歌浦 京子 (新潟)	堀内 昭 (長野)	高辻 則夫 (富山)
永井 茂樹 (石川)	川畑 茂 (福井)	落合 敏男 (静岡)
澤田 康彦 (愛知)	天野 晴夫 (三重)	安藤 清 (岐阜)
金井 豊 (滋賀)	増木 博一 (京都)	友谷 往弘 (大阪)
森田 賢二 (兵庫)	西森 卓也 (奈良)	花田 一弥 (和歌山)
安東 健司 (鳥取)	大地本 一到 (島根)	竹内 英人 (岡山)
大前 秀樹 (広島)	弘中 基之 (山口)	岸本 正文 (徳島)
木下 恵司 (香川)	越智 朗 (愛媛)	横江 忠志 (高知)
湯田 純孝 (福岡)	豊福 尚弘 (佐賀)	馬場 信幸 (長崎)
岩下 敏和 (熊本)	福田 茂 (大分)	當瀬 純一 (宮崎)
山口 純生 (鹿児島)	宮城 正彦 (沖縄)	宮崎 正己 (日学連)
落合 護 (高体連)	平野 富靖 (中体連)	

※平成28年臨時評議員会より

(7) 平成28年度(4月1日～6月定時評議員会まで) 専門委員会

総務委員会	委員長	和歌浦信雄(新潟)	副委員長 丹崎健一(東京)		
	委員	柳下 秋久(東京)	川島 登(福島)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)
		北 正三(埼玉)			
会員登録制度部会	部会長	和歌浦信雄(新潟)			
	委員	川島 登(福島)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)	北 正三(埼玉)
		運上琢論(北海道)	落合 護(高体連)		
IT部会	部会長	北 正三(埼玉)			
	委員	天野 晴夫(三重)	大野 勝敏(埼玉)	増山 良夫(東京)	

審判委員会	委員長	林田 正信(熊本)	副委員長 今井 史郎(東京)		
	委員	柳下 秋久(東京)	木原 晴彦(広島)	川西 斎(奈良)	安藤 正美(香川)
		山下 晴海(埼玉)	北村 和久(三重)	笛岡 宣明(愛知)	牧 壮一(愛知)
		田村 忠士(広島)	君塚亮一(神奈川)	木下 道夫(東京)	上山 親子(大阪)
		荒畑 鈴佳(岐阜)			

競技委員会	委員長	柳下 秋久(東京)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	山下 晴海(埼玉)	篠邊 保(愛知)	林田 正信(熊本)	長岡 敏久(埼玉)
		今井 史郎(東京)	井上 光子(千葉)		
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
	委員	山下 晴海(埼玉)	増山 良夫(東京)	佐藤 健司(東京)	木谷 順三(千葉)
		小笠原浩二(東京)	中野 吉広(東京)	山口 眞護(東京)	小俣 三男(埼玉)
		木所 一典(栃木)	高川恵美子(東京)	藤原 芳子(東京)	織原真由美(東京)
		井上 光子(千葉)	成島 厚子(東京)		
等級制度部会	部会長	今井 史郎(東京)			
	委員	篠邊 保(愛知)	安達 和紀(鳥取)	吉田 茂(福島)	大中和彦(神奈川)
		木下 道夫(東京)			

強化委員会	委員長	神崎 公宏(三重)	副委員長 北本 英幸(石川)		
	委員	篠邊 保(愛知)	野際 照章(京都)	石井 源信(東京)	斉藤 広宣(千葉)
		田中 弘(東京)	中堀 成生(広島)	高川 経生(東京)	
医科学部会	部会長	石井 源信(東京)			
	委員	永井 博典(東京)	山本 裕二(愛知)	水野 哲也(千葉)	工藤 敏巳(宮城)
		出家 正隆(広島)	藤島 淑子(東京)	楠堀 誠司(広島)	井田 博史(東京)
		川上 晃司(兵庫)	守重 昌彦(東京)	見附 祥子(広島)	川野 因(神奈川)
		永野 康治(新潟)	村山 孝之(石川)	福原 和伸(東京)	山田 隆(東京)

指 導 委 員 会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 北本 英幸(石川)		
	委 員	神崎 公宏(三重)	篠邊 保 (愛知)	小野寺 剛(東京)	安達 和紀(鳥取)
		小西 俊博(香川)	武田 博子(京都)	井田 博史(東京)	松口康彦(神奈川)
		浅川 陽介(東京)			

生涯スポーツ委員会	委員長	大川 京子(千葉)	副委員長 石川 雅利(千葉)		
	委 員	川西 齊 (奈良)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)	本田 茂雄(宮城)
		金岡 昭房(宮城)	落合 護(高体連)		
小学生部会	部会長	金岡 昭房(宮城)			
	委 員	石川 雅利(千葉)	松口康彦(神奈川)	芝地 康幸(兵庫)	廣島義清(北海道)
		國枝 俊子(岐阜)	川並久美子(和歌山)	中村 正広(福岡)	小西 俊博(香川)
島山 洋二(広島)		小野 道康(新潟)			
シニア部会	部会長	本田 茂雄(宮城)			
	委 員	川西 齊 (奈良)	白水 厚二(大分)	時任 宥幸(東京)	保倉 謙治(埼玉)
		山村 嘉一(千葉)	横野久美子(愛知)	佐藤 健司(東京)	

国 際 委 員 会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 玉木 進(東京)		
	委 員	木原 晴彦(広島)	山口 正紀(広島)	福崎 穰司(広島)	蒲原 英敏(広島)
		古賀 俊彦(京都)	松井愛美(神奈川)	関川 丈彦(新潟)	安達 和紀(鳥取)
		赤須 由佳(三重)			

広 報 委 員 会	委員長	玉木 進(東京)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委 員	柳下 秋久(東京)	石川 雅利(千葉)	中山 俊介(東京)	萩原廣一(神奈川)
		北 正三 (埼玉)	大野 勝敏(埼玉)	井上 光子(千葉)	
機関誌編集部会	部会長	山下 晴海(埼玉)			
	委 員	石川 雅利(千葉)	鈴木 学 (埼玉)	近藤 貴予(東京)	井上 光子(千葉)
		赤井 宏司(東京)			

アンチドーピング委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 玉木 進(東京)		
	委 員	丹崎 健一(東京)	永井 博典(東京)	藤島 淑子(東京)	川上 晃司(兵庫)
		見附 祥子(広島)	上遠野久美(福島)		

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	表 孟宏(兵庫)	副委員長 笠井 達夫(神奈川)		
	委 員	西村 信寛(東京)	小原 信幸(岡山)	和歌浦信雄(新潟)	柳下 秋久(東京)
		大川 京子(千葉)	林 昭文(中体連)	八木橋勉(高体連)	

倫 理 委 員 会	委員長	西村 信寛(東京)	副委員長 笠井達夫(神奈川)		
	委 員	小原 信幸(岡山)	和歌浦信雄(新潟)	柳下 秋久(東京)	

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	笠井達夫(神奈川)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	柳下 秋久(東京)	篠邊 保 (愛知)	木原 晴彦(広島)	白水 厚二(大分)
		八木橋勉(高体連)	林 昭文(中体連)	神崎 公宏(三重)	野際 照章(京都)
		北本 英幸(石川)	丹崎 健一(東京)	井上 創 (兵庫)	林研一(日本学連)
競技者育成部会	部会長	神崎 公宏(三重)			
	委員	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘 (東京)	小野寺 剛(東京)	小峯 秋二(富山)
		池田 征弘(京都)	岡村 勝幸(山梨)	篠邊 保 (愛知)	安達 和紀(鳥取)
指導者育成部会	部会長	野際 照章(京都)			
	委員	神崎 公宏(三重)	北本 英幸(石川)	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘 (東京)
		川並久美子(和歌山)	伊東 健 (岩手)		
マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)			
	委員	手嶋 信彦(広島)	天野 晴夫(三重)	増田 大吾(神奈川)	溝渕俊二(和歌山)
		西木 宏 (徳島)	岩下 敏和(熊本)	千葉 英明(宮城)	山田 浩一(石川)

用具・用品・施設委員会	委員長	笠井達夫(神奈川)	副委員長 柳下 秋久(東京)		
	委員	玉木 進 (東京)	山下 晴海(埼玉)	今井 史郎(東京)	

国際振興プロジェクト	委員長	笠井達夫(神奈川)	副委員長 丹崎 健一(東京)		
	委員	玉木 進 (東京)	橋本貞夫(神奈川)	佐々木寿(北海道)	古賀 俊彦(京都)

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)		副委員長 篠邊 保(愛知)	
	委員	柳下 秋久(東京)	安藤 正美(香川)	林田 正信(熊本)	大川 京子(千葉)
		八木橋勉(高体連)	林 昭文(中体連)	金岡 昭房(宮城)	林研一(日本学連)

東京オリンピック 対策プロジェクト	委員長	笠井達夫(神奈川)		副委員長 佐藤健司(東京)	
	委員	丹崎 健一(東京)	玉木 進 (東京)	内田 裕行(東京)	柳澤 昌彦(東京)
		横山 隆二(東京)			

(8) 平成28年度(6月定時評議員会～平成30年度定時評議員会まで) 専門委員会

総務委員会	委員長	和歌浦信雄(新潟)	副委員長 丹崎 健一(東京)			
	委員	川島 登(福島)	白水 厚二(大分)	八木橋 勉(高体連)	運上 琢輪(北海道)	
		北 正三(埼玉)	森田 賢二(兵庫)			
	会員登録制度部会	部会長	川島 登(福島)			
		委員	井上 光子(千葉)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)	和歌浦信雄(新潟)
			北 正三(埼玉)			
IT部会	部会長	北 正三(埼玉)				
	委員	天野 晴夫(三重)	君塚 亮一(神奈川)	増山 良夫(東京)		

審判委員会	委員長	林田 正信(熊本)	副委員長 上山 親子(大阪)		
	委員	川西 斎(奈良)	木原 晴彦(広島)	柳下 秋久(東京)	山下 晴海(埼玉)
		今井 史郎(東京)	小田 宗雄(熊本)	北 正三(埼玉)	木下 道夫(東京)
		君塚亮一(神奈川)	田村 忠士(広島)	笛岡 宣明(愛知)	牧 壮一(愛知)
		森 純(宮城)	渡辺はるみ(北海道)		

競技委員会	委員長	柳下 秋久(東京)	副委員長 安藤 正美(香川)			
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	篠邊 保(愛知)	佐藤 健司(東京)	
		山下 晴海(埼玉)	今井 史郎(東京)	長岡 敏久(埼玉)		
	プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
		委員	井上 光子(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	石坂 欣也(東京)
			井上まゆ美(東京)	小笠原浩二(東京)	小俣 三男(埼玉)	織原真由美(東京)
			木谷 順三(千葉)	木所 一典(栃木)	木村 眞敏(埼玉)	高川恵美子(東京)
			高橋 道子(埼玉)	中野 吉広(東京)	成島 厚子(東京)	藤原 芳子(東京)
			増山 良夫(東京)	山口 眞護(東京)		
	等級制度部会	部会長	今井 史郎(東京)			
		委員	篠邊 保(愛知)	安達 和紀(鳥取)	大中 和彦(神奈川)	岡村 勝幸(山梨)
			木下 道夫(東京)	吉田 茂(福島)		

強化委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 小野寺 剛(東京)		
	委員	安藤 正美(香川)	篠邊 保(愛知)	井田 博史(東京)	神崎 公宏(三重)
		斉藤 広宣(千葉)	高川 経生(東京)	田中 弘(東京)	中堀 成生(広島)

指導委員会	委員長	篠邊 保(愛知)	副委員長 井田 博史(東京)		
	委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	安達 和紀(鳥取)	小野寺 剛(東京)
		小峯 秋二(富山)	高井 志保(大阪)	玉井俊充(和歌山)	百町 善明(京都)

生涯スポーツ委員会	委員長	石川 雅利(千葉)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	井上 光子(千葉)	上山 親子(大阪)	川西 斎 (奈良)	林 昭文(中体連)
		落合 護(高体連)	普天間富士子(沖縄)		
小学生部会	部会長	金岡 昭房(宮城)			
	委員	宇野 一行(愛媛)	小野 道康(新潟)	川並久美子(和歌山)	國枝 俊子(岐阜)
		小西 俊博(香川)	芝地 康幸(兵庫)	中村 正広(福岡)	畠山 洋二(広島)
廣島義春(北海道)		松口康彦(神奈川)			
シニア部会	部会長	川西 斎 (奈良)			
	委員	佐藤 健司(東京)	白水 厚二(大分)	鍵 茂 (宮城)	時任 宥幸(東京)
		保倉 謙治(埼玉)	山村 嘉一(千葉)	横野久美子(愛知)	

国際委員会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 木原 晴彦(広島)		
	委員	赤須 由佳(三重)	安達 和紀(鳥取)	蒲原 英敏(広島)	古賀 俊彦(京都)
		関川 丈彦(新潟)	玉木 進 (東京)	角田 光央(東京)	福崎 穰司(広島)
		松井愛美(神奈川)	山口 正紀(広島)		

広報委員会	委員長	山下 晴海(埼玉)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	柳下 秋久(東京)	大野 勝敏(埼玉)
		玉木 進 (東京)	中山 俊介(東京)	萩原廣一(神奈川)	
機関誌編集部会	部会長	井上 光子(千葉)			
	委員	石川 雅利(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	赤井 宏司(東京)
		近藤 貴予(東京)	鈴木 学 (埼玉)		

医科学委員会	委員長	山本 裕二(愛知)	副委員長 石川 雅利(千葉)		
	委員	川上 晃司(兵庫)	工藤 敏己(宮城)	永井 博典(東京)	藤島 淑子(東京)
医学部会	部会長	永井 博典(東京)			
	委員	川野 因(神奈川)	出家 正隆(愛知)	藤島 淑子(東京)	見附 祥子(広島)
		守重 昌彦(兵庫)	山田 隆 (東京)		
アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子(東京)			
	委員	丹崎 健一(東京)	井田 博史(東京)	上遠野 久美(福島)	玉木 進 (東京)
		見附 祥子(広島)	永井 博典(東京)		
トレーナー部会	部会長	川上 晃司(兵庫)			
	委員	高嶋 直美(東京)	永野 康治(東京)	見附 祥子(広島)	吉川友己奈(京都)
スポーツ科学部会	部会長	工藤 敏己(宮城)			
	委員	井田 博史(東京)	緒方 貴浩(東京)	楠堀 誠司(広島)	永野 康治(東京)
		福原和伸(神奈川)	水野 哲也(千葉)	村山 孝之(石川)	山本 裕二(愛知)

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	安道 光二(京都)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	小原 信幸(岡山)	本田 茂雄(宮城)	井上 光子(千葉)
		林 昭文(中体連)	柳下 秋久(東京)	八木橋勉(高体連)	和歌浦信雄(新潟)

倫理委員会	委員長	小原 信幸(岡山)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	本田 茂雄(宮城)	柳下 秋久(東京)	和歌浦 信雄(新潟)

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 山下 晴海(埼玉)			
	委員	北本 英幸(石川)	木原 晴彦(広島)	篠邊 保 (愛知)	白水 厚二(大分)	
		林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)	柳下 秋久(東京)	八木橋 勉(高体連)	
		井上 創 (兵庫)	小野寺 剛(東京)	神崎 公宏(三重)	宮崎正己(日本学連)	
	競技者育成部会	部会長	北本 英幸(石川)			
		委員	安達 和紀(鳥取)	池田 征弘(京都)	小峯 秋二(富山)	斉藤 広宣(千葉)
			高井 志保(大阪)	田中 弘 (東京)	中津川澄男(宮城)	橋本 康徳(京都)
	指導者育成部会	部会長	篠邊 保 (愛知)			
		委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	小野寺 剛(東京)	斉藤 広宣(千葉)
			高井 志保(大阪)	高橋 茂(東京)	田中 弘 (東京)	松口康徳(神奈川)
	マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)			
		委員	天野 晴夫(三重)	岩下 敏和(熊本)	越智 克昌(愛媛)	千葉 英明(宮城)
手嶋 信彦(広島)			増田大吾(神奈川)	溝渕俊二(和歌山)	山田 浩一(石川)	

用具・用品・施設 委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 柳下 秋久(東京)		
	委員	木原 晴彦(広島)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	浅川 陽介(東京)

国際振興プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 古賀 俊彦(京都)		
	委員	佐々木寿(北海道)	玉木 進 (東京)		

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)	副委員長 井上 光子(千葉)		
	委員	安藤 正美(香川)	木原 晴彦(広島)	林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)
		柳下 秋久(東京)	八木橋勉(高体連)	岡村 勝幸(山梨)	金岡 昭房(宮城)
		林研一(日本学連)			

東京オリンピック 対策プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	内田 裕行(東京)	岡村 勝幸(山梨)	小峯 秋二(富山)	玉木 進 (東京)
		柳澤 昌彦(東京)	横山 隆二(東京)		

(9) 平成28年度(平成28年度定時評議員会まで)

顧問・参与・事務局職員

《顧問》

中屋 卯三郎	倉田 裕司	松田 謙治	内田 昌一	北村 和久
--------	-------	-------	-------	-------

《参与》

重田 衛	長瀬 泰彦	水野 明人	米山 勉	酒井 薫
高松 政男	松田 信穂	中山 昌作	伊野 二彦	内藤 享佑
吉田 敏彦	星野 博	西田 豊明	本田 茂雄	宮下 恭子
藤原 伸二 (平成28年4月23日逝去)	斉藤 元三	吉田 博紀		

〈事務局職員〉

事務局長	柳下 秋久 平成27年6月15日～	職 員	荒木 朋子	平成3年5月1日～
	事務局次長		玉木 進 平成24年7月1日～	大八木 洋子
				堀内 大
				中山 圭

- ※ 顧問弁護士 鈴木 孝雄氏
- ※ 公認会計士 櫻井 資悦氏
- ※ 税理士 加藤 貴大氏(税理士法人みなと財務)

(10) 平成28年度(6月定時評議員会～平成30年度定時評議員会まで)

顧問・参与・事務局職員

《顧問》

中屋 卯三郎 (平成28年9月30日逝去)	倉田 裕司 (平成29年1月2日逝去)	松田 謙治	内田 昌一	北村 和久
西村 信寛				

《参与》

重田 衛	柳田 昌作	水野 明人	米山 勉	酒井 薫
高松 政男	松田 信穂	中山 昌作	伊野 二彦	内藤 享佑
吉田 敏彦	星野 博	西田 豊明	宮下 恭子	斉藤 元三
吉田 博紀	神崎 公宏			

〈事務局職員〉

事務局長	柳下 秋久 平成27年6月15日～ 平成28年8月31日まで	職 員	荒木 朋子	平成3年5月1日～ 平成28年9月1日～ 事務局次長
	木谷 順三 平成28年9月1日～		大八木 洋子	平成13年4月1日～
事務局次長	玉木 進 平成24年7月1日～ 平成28年7月31日まで		堀内 大	平成26年1月14日～
			中山 圭	平成27年9月1日～ 平成29年2月28日まで
			渡辺 貴大	平成28年9月1日～

※ 顧問弁護士 鈴木 孝雄氏

※ 公認会計士 櫻井 資悦氏

※ 税理士 加藤 貴大氏(税理士法人みなと財務)

7. 会員登録に関する事項

(1) 年度別会員登録人数

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成 28 年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成 27 年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成 26 年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成 25 年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成 24 年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成 23 年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成 22 年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成 21 年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508
平成 20 年度	3,291	51,436	17,408	279,203	87,243	810	8,288	447,679
平成 19 年度	0	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686

(注) 都道府県別会員数は別表 4 (P56) に掲載。平成 20 年度より指導者区分を設置。

8. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000 円 × 50 支部 7,500,000 円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成 28 年度	11,073,000	46,346,000	9,864,000	140,428,500	42,816,000	518,500	3,972,500	255,018,500
平成 27 年度	10,572,000	46,683,000	9,706,000	144,265,000	42,182,500	511,500	3,845,000	257,765,000

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー 27 社：延べ 50 社 (前年度 48 社)

(単位：円)

用具・用品	金額	公認メーカー
ラケット 9 社	900,000	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・ヒロウン ダンロップスポーツ・グローブライド・ティエムシー・ ジャパーナ
ボール 3 社	8,280,000	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・ダンロップスポー ツ
ネット 9 社	900,000	鐘屋産業・アシックス・寺西喜商店・ミセキネット・ 昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネッ ト・豊貿易
ストリング 5 社	3,300,000	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・ダンロップスポー ツ・ミズノ
ユニフォーム 12 社	13,920,000	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴー セン・アシックス・ゴールドウィン・ナイキジャパン・ダン ロップスポーツ・アディダスジャパン・グローブライド・ ニューバランスジャパン

シューズ	12社	5,320,000	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・アディダスジャパン・ダンロップスポーツ・ミズノ・グローブライド・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディアドラジャパン・フォワードアパレルトレーディング
計		32,620,000	

イ. 施設業者 7社：延べ 8社（前年度 8社）（単位：円）

施設・製造	金額	業者名
砂入り人工芝製造業者 7社	3,500,000	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・エスディーテック・大嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート製造業者 1社	500,000	大塚ターフテック
計	4,000,000	

ウ. 一般 8団体 72名 計 960,000円（前年度 14団体 81名 計 1,120,000円）

50,000	安道光二	京都						
30,000	小原信幸	岡山	笠井達夫	神奈川				
20,000	岩手県連盟		石川県連盟		ミズノ(株)		(株)ダンロップスポーツ	
	(株)ルーセント		高須賀(株)		三田ソフトテニス倶楽部		宮崎正己	学連
10,000	北村和久	三重	長瀬泰彦	東京	中山昌作	徳島	齋藤元三	愛知
	高松政男	栃木	吉田博紀	熊本	宮下恭子	大阪	神崎公宏	三重
	本田茂雄	宮城	野際照章	京都	柳下秋久	東京	丹崎健一	東京
	北本英幸	石川	川島 登	福島	石川雅利	千葉	和歌浦信雄	新潟
	篠邊 保	愛知	川西 斎	奈良	木原晴彦	広島	安藤正美	香川
	白水厚二	大分	八木橋勉	東京	林 昭文	東京	林田正信	熊本
	山下晴海	埼玉	佐藤健司	東京	井上光子	千葉	上山親子	大阪
	井上清一	石川	山本 毅	京都	萬 正一	秋田	高木安一郎	静岡
	佐野正和	静岡	本川正明	愛知	今井誠則	広島	大久保忠雄	栃木
	佐藤栄一	群馬	中村 進	埼玉	落合敏男	静岡	天野晴夫	三重
	木村芳雄	岐阜	大前秀樹	広島	落合 護	高体連	井田博史	東京
	伊藤 健	岩手	井上 創	兵庫	今井史郎	東京	小野道康	新潟
	金岡昭房	宮城	川上晃司	兵庫	蒲原英敏	広島	北 正三	埼玉
	國枝俊子	岐阜	小西俊博	香川	玉木 進	東京	武田博子	広島
	出家正隆	広島	時任宥幸	東京	中村正広	福岡	長岡敏久	埼玉
	中山俊介	東京	林 研一	熊本	原田公夫	鳥取	藤島淑子	東京
笛岡宣明	愛知	保倉謙治	埼玉	山口眞護	東京	山口正紀	広島	
	ゴーセン(株)							

9. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 補助金 合計額 14,321,000 円 (前年度 13,049,000 円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	14,223,000
宮崎観光コンベンション協会	スポーツメディカル支援事業	98,000

(2) 助成金 合計額 60,514,594 円 (前年度 62,647,150 円)

(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	2,785,000
	競技会開催(JOCジュニアオリンピックカップ/全日本ジュニア選手権大会)	1,399,000
	指導者研修会	1,161,000
	小計	5,345,000
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1~Step-3)	48,720,000
	ドーピング検査	3,826,000
	小計	52,546,000
希望郷いわて国体実行委員会	国民体育大会役員旅費	873,594
(公財)ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金	750,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	1,000,000

(3) 交付金 合計額 8,192,020 円 (前年度 6,541,900 円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	7,540,000
	JOCジュニア選手強化交付金	200,000
(公財)日本体育協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	356,020
	スポーツ指導者育成交付金	96,000

(4) 委託金 合計額 2,573,740 円 (前年度 3,117,230 円)

(公財)日本体育協会	日本スポーツマスターズ委託金	2,573,740
------------	----------------	-----------

10. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 協賛金 合計額 39,250,000 円 (前年度 24,050,000 円)

(単位：円)

ミズノ(株)「日本代表チームユニフォームオフィシャルサプライヤー協賛金」	10,000,000
ミズノ(株)「広報活動協賛金」	10,000,000
ミズノ(株)「国際振興協賛金」	3,000,000
ミズノ(株)「全日本インドア選手権大会協賛金」	250,000

ヨネックス㈱「日本代表チームストリングオフィシャルサプライヤー協賛金」	5,500,000
ナガセケンコー(株) 「主催大会協賛金」	1,000,000
昭和ホールディングス(株)「主催大会協賛金」	1,000,000
ダンロップスポーツ(株)「主催大会協賛金」	8,500,000

(2) 新規公認 合計額 6,000,000 円 (前年度 5,000,000 円)

(単位：円)

豊貿易(株) 「ネット」	1,000,000
フォワード・アパレル・トレーディング(株) 「シューズ」	5,000,000

1.1. 傷害補償制度の給付金に関する事項

37 件、1,279,000 円を給付した。(前年度：52 件 2,164,000 円)

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11						11
骨折	7				1		8
靭帯損傷	5			1			6
肉離れ	2						2
その他	7			2			9
死亡	1						1
計	33			3	1		37

大会一覧表

別表1

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
5	14・15	第23回全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	奈良県明日香村	287
			女子シングルス	橿原公苑明日香庭球場	239
			小計		526
6	22～26	第45回ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市 円山庭球場	144
			女子ダブルス		144
			男子シングルス		64
			女子シングルス		64
			小計		416
	25・26	西日本シニア選手権大会	シニア男45	和歌山県和歌山市 和歌山市つつじか丘テニスコート 和歌山県白浜町 白浜町テニスコート	106
			シニア女45		86
			シニア男50		114
			シニア女50		54
			シニア男55		114
			シニア女55		120
			シニア男60		120
			シニア女60		114
			シニア男65		98
			シニア女65		78
			シニア男70		68
			シニア女70		62
			シニア男75		38
			シニア女75		22
シニア男80	24				
シニア女80	16				
小計		1,234			
7	15～17	第71回東日本選手権大会	一般男子	新潟県新潟市 新潟市庭球場 新潟県燕市 燕市スポーツパーク市民テニスコート 新潟県長岡市 長岡市営希望が丘テニス場 新潟県上越市 上越総合運動公園テニスコート	550
			一般女子		268
			成年男子		154
			成年女子		34
			シニア男45		78
			シニア女45		52
			シニア男50		92
			シニア女50		74
			シニア男55		92
			シニア女55		88
			シニア男60		118
			シニア女60		120
			シニア男65		150
			シニア女65		92
			シニア男70		88
			シニア女70		68
			シニア男75		58
			シニア女75		38
	小計		2,214		
	16・17	第70回西日本選手権大会	一般男子	奈良県明日香村	534
			一般女子	橿原公苑明日香庭球場	256
成年男子			奈良県奈良市	160	
成年女子			鴻ノ池テニスコート	50	
小計			1,000		

7	29~31	男子第61回 女子第60回 全日本実業団選手権大会	男子団体	愛媛県今治市 今治市営スポーツパークテニスコート	1,027
			女子団体	愛媛県大洲市 八幡浜・大洲地区運動公園テニスコート	94
			小計		1,121
	7/28 ~31	第33回全日本小学生選手権大会	男子個人	山形県天童市	384
			男子団体	山形県総合運動公園テニスコート	384
			女子個人		384
			女子団体		384
			小計		1,536
	28~31	全日本高校選手権大会	男子個人	岡山県備前市 岡山県備前テニスセンター	644
	男子団体		628		
女子個人	384				
女子団体	384				
小計			768		
8	5~7	第43回全日本レディース(個人戦)	ふじ(初心者)	新潟県新潟市 新潟市庭球場 新潟県上越市 上越総合運動公園テニスコート 新潟県長岡市 長岡市営希望が丘テニス場 新潟県燕市 燕市スポーツパーク市民テニスコート	124
			すみれ(満20歳以上)		24
			ばら(40歳以上)		86
			ゆり(50歳以上)		118
			きく(55歳以上)		220
			あやめ(60歳以上)		352
			はぎ(65歳以上)		304
			さつき(70歳以上)		252
			さくら(75歳以上)		104
			もも(80歳以上)		76
小計		1,660			
8	4~10	全日本学生選手権大会 第70回文部科学大臣杯(大学対抗) 第71回三笠宮賜杯(ダブルス) 第58回全日本学生シングルス選手権大会	男子大学対抗	山口県下関市 下関庭球場	432
			女子大学対抗	福岡県北九州市	342
			男子ダブルス	桃園庭球場	1,002
			女子ダブルス	穴生ドーム	650
			男子シングルス	下関庭球場	121
			女子シングルス		100
			小計		2,647
	22~24	第47回全国中学校大会	男子個人	石川県能登町 石川県立能登健民テニスコート	128
			女子個人		128
			男子団体		200
女子団体			200		
小計		656			
26~28	第38回全日本レディース決勝大会 (都道府県対抗団体戦)	都道府県対抗	宮城県仙台市 泉庭球場、シェルコムせんだい	528	
9	3・4	第44回全日本社会人選手権大会	一般男子	茨城県神栖市	588
			一般女子	海浜運動公園テニスコート	248
			成年男子	鹿嶋ハイツスポーツプラザテニスコート	242
			成年女子		54
			小計		1,132
	9~11	第20回全日本シニア選手権大会	男子45	千葉県白子町 白子町サニーテニスコート他	156
			女子45		118
			男子50		156
			女子50		148
			男子55		122
女子55			148		
男子60			230		
女子60	180				

9	9～11	第20回全日本シニア選手権大会	男子65		218
			女子65		156
			男子70		124
			女子70		106
			男子75		64
			女子75		54
			男子80		32
			女子80		22
			混合45		60
			混合50		74
			混合55		70
			混合60		144
			混合65		120
			混合70		60
			小計		
9	17・18	第23回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子シングルス(U-14)	広島県広島市 広島市翔洋テニスコート	24
			女子シングルス(U-14)		20
			男子シングルス(U-17)		26
			女子シングルス(U-17)		30
			男子シングルス(U-20)		26
			女子シングルス(U-20)		22
			男子ダブルス(U-14)		22
			女子ダブルス(U-14)		18
			男子ダブルス(U-17)		28
			女子ダブルス(U-17)		32
			男子ダブルス(U-20)		26
			女子ダブルス(U-20)		22
			小計		
24～26	日本スポーツマスターズ2016	都道府県対抗	秋田県大館市 高館テニスコート	360	
10	2～5	第71回国民体育大会	少年男子	岩手県北上市 和賀川グリーンパークテニスコート	126
			少年女子		144
			成年男子		96
			成年女子		282
			小計		
	21～23	第71回天皇賜杯皇后賜杯 全日本選手権大会	男子	山口県宇部市	380
			女子	宇部マテ”フレッセラ”テニスコート	338
	小計				718
	10/28 ～30	第30回日本実業団リーグ	男子団体	広島翔洋テニスコート	229
			女子団体	海田総合公園テニスコート	35
小計				264	
10/28 ～30	第23回全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	1,318	
		女子団体	白子町サニーテニスコート他	345	
小計				1,663	
10	25～28	第11回ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート 久峰総合公園テニスコート	14
			女子シングルス(U-14)		13
			男子シングルス(U-17)		14
			女子シングルス(U-17)		14
			男子シングルス(U-20)		8
			女子シングルス(U-20)		10
			男子ダブルス(U-14)		44
			女子ダブルス(U-14)		40

10	25~28	第11回ジュニアジャパンカップ	男子ダブルス(U-17)		42
			女子ダブルス(U-17)		42
			男子ダブルス(U-20)		24
			女子ダブルス(U-20)		32
			小計		
12	16~18	第34回日本リーグ	男子	愛知県豊田市	62
			女子	スカイホール豊田	59
			小計		
1	29	第62回全日本インドア選手権	男子	大阪府大阪市	24
			女子	大阪市中央体育館	24
			小計		
2	11・12	日本リーグ入替戦	男子	愛知県名古屋市	32
			女子	稲永スポーツセンター	27
			小計		
3	26~28	第28回都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市 三重県営サンアリーナ 三重交通Gスポーツの杜伊勢体育館 伊勢市営庭球場	384
			女子団体		384
			男子ダブルス		288
			女子ダブルス		288
			男子シングルス		96
			女子シングルス		96
			小計		
	28~30	第42回全日本高等学校選抜大会	男子団体	愛知県名古屋市	288
			女子団体	日本ガイシスポーツプラザ	288
			小計		
	29~31	第16回全国小学生大会	男子6年生の部	千葉県白子町 白子町サニーテニスコート他	88
			女子6年生の部		88
男子5年生の部			330		
女子5年生の部			350		
男子4年生以下の部			340		
女子4年生以下の部			330		
小計			1,526		

技術等級認定実績

別表2

平成29年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-E x	Sp	S-S p	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	5	0	5	0	18	39	20	0	87
2 青森	0	0	0	0	7	0	0	3	38	56	104
3 岩手	0	0	0	1	0	0	0	6	25	0	32
4 宮城	0	0	0	0	3	0	0	6	33	0	42
5 秋田	0	0	0	0	1	0	2	10	33	0	46
6 山形	0	0	0	0	4	0	1	1	44	0	50
7 福島	0	0	1	0	2	0	9	28	79	0	119
8 茨城	0	0	0	2	9	0	10	17	39	7	84
9 栃木	0	0	0	0	4	0	0	36	52	16	108
10 群馬	0	0	0	0	18	1	10	60	32	42	163
11 埼玉	0	0	2	5	8	2	14	77	49	66	223
12 千葉	0	0	1	1	5	0	5	7	33	22	74
13 東京	0	0	11	0	4	2	17	16	19	15	84
14 神奈川	0	0	1	2	5	0	0	40	22	0	70
15 山梨	0	0	1	0	6	0	10	61	46	39	163
16 新潟	0	0	0	0	5	0	7	29	25	0	66
17 長野	0	0	0	1	18	1	13	13	32	1,875	1,953
18 富山	0	0	5	0	1	0	0	9	8	33	56
19 石川	0	0	0	1	6	0	15	13	34	33	102
20 福井	0	0	0	0	1	0	2	0	1	54	58
21 静岡	0	0	0	3	9	2	7	25	43	3	92
22 愛知	0	0	5	3	3	7	6	52	55	133	264
23 三重	0	0	0	0	6	3	6	8	23	20	66
24 岐阜	0	0	1	1	6	0	8	18	30	11	75
25 滋賀	0	0	0	0	1	0	2	6	26	1	36
26 京都	0	0	5	0	6	0	1	10	8	29	59
27 大阪	0	0	2	2	7	0	3	49	26	18	107
28 兵庫	0	0	3	0	7	0	16	63	17	16	122
29 奈良	0	0	3	0	7	0	6	10	26	0	52
30 和歌山	0	0	2	0	7	0	0	8	19	90	126
31 鳥取	0	0	0	0	0	0	4	3	0	16	23
32 島根	0	0	0	0	7	0	7	14	4	21	53
33 岡山	0	0	3	0	13	0	8	45	28	0	97
34 広島	0	0	0	0	8	3	11	22	22	0	66
35 山口	0	0	3	0	12	0	19	38	38	0	110
36 徳島	0	0	2	0	7	0	5	10	23	0	47
37 香川	0	0	0	0	13	1	0	3	11	11	39
38 愛媛	0	0	2	0	5	0	2	3	29	30	71
39 高知	0	0	0	0	4	0	0	0	5	27	36
40 福岡	0	0	0	1	6	0	0	7	35	1	50
41 佐賀	0	0	0	0	0	0	1	0	25	0	26
42 長崎	0	0	0	0	1	0	11	8	44	30	94
43 熊本	0	0	0	0	2	0	10	81	238	362	693
44 大分	0	0	0	0	9	0	0	3	17	11	40
45 宮崎	0	0	0	0	5	0	0	42	46	0	93
46 鹿児島	0	0	0	0	1	0	0	0	36	0	37
47 沖縄	0	0	0	0	2	0	0	3	13	0	18
48 日本学連	0	0	15	0	69	0	41	43	0	6	174
合計	0	0	73	23	335	22	307	1,045	1,551	3,094	6,450
前年度	0	0	79	19	360	24	328	1,179	1,507	3,316	6,812

公認審判員認定実績

別表3

平成29年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般		高校			
						新規	更新	新規	移行		
1	北海道	0	2	2	3	160	222	287	689	2,423	3,788
2	青森	0	0	0	0	53	92	223	63	275	706
3	岩手	0	2	2	6	141	70	99	559	1,416	2,295
4	宮城	1	0	1	5	104	119	552	404	1,523	2,709
5	秋田	0	0	2	6	46	45	78	257	860	1,294
6	山形	2	0	2	9	102	52	190	263	923	1,543
7	福島	0	0	2	10	77	75	105	527	2,283	3,079
8	茨城	3	0	2	4	97	79	743	72	254	1,254
9	栃木	1	2	3	6	89	50	402	55	156	764
10	群馬	3	2	2	3	94	92	385	143	249	973
11	埼玉	7	3	4	3	260	453	959	655	3,221	5,565
12	千葉	8	0	1	6	132	180	680	532	3,958	5,497
13	東京	3	23	1	3	167	163	151	60	120	691
14	神奈川	3	1	3	2	111	70	149	636	7,187	8,162
15	山梨	2	2	6	2	107	52	313	56	126	666
16	新潟	1	2	2	5	62	78	97	395	2,208	2,850
17	長野	0	0	2	1	84	207	530	59	88	971
18	富山	4	0	0	1	47	22	363	0	35	472
19	石川	0	0	0	8	56	76	0	200	1,823	2,163
20	福井	1	0	6	0	5	37	88	16	5	158
21	静岡	2	14	5	3	143	153	149	452	4,193	5,114
22	愛知	0	0	3	0	203	299	1,245	32	143	1,925
23	三重	3	0	8	4	20	46	143	33	96	353
24	岐阜	1	0	1	5	38	56	334	54	244	733
25	滋賀	0	1	4	7	40	49	465	17	121	704
26	京都	7	0	4	5	82	91	664	46	97	996
27	大阪	0	0	1	12	114	177	235	29	77	645
28	兵庫	3	0	1	6	188	155	71	9	53	486
29	奈良	0	0	0	2	36	120	257	21	26	462
30	和歌山	0	0	0	4	66	48	25	13	140	296
31	鳥取	0	0	0	9	30	53	17	24	37	170
32	島根	1	0	0	1	58	58	218	31	55	422
33	岡山	1	2	5	6	87	54	800	70	119	1,144
34	広島	3	0	0	3	104	154	1,023	46	99	1,432
35	山口	3	0	0	5	81	91	542	76	280	1,078
36	徳島	1	0	0	9	11	14	183	0	67	285
37	香川	1	0	0	0	34	18	202	42	102	399
38	愛媛	4	0	2	4	91	65	24	30	350	570
39	高知	0	0	0	4	31	12	156	20	32	255
40	福岡	0	0	2	2	123	143	533	126	463	1,392
41	佐賀	0	0	0	2	33	30	34	247	984	1,330
42	長崎	1	2	1	8	173	92	118	370	1,242	2,007
43	熊本	0	0	0	4	39	49	80	455	1,364	1,991
44	大分	6	4	0	2	46	25	70	29	188	370
45	宮崎	1	0	1	2	72	59	308	64	114	621
46	鹿児島	1	0	4	4	93	106	96	53	179	536
47	沖縄	0	0	0	1	2	10	19	39	173	244
48	日本学連	0	0	0	0	837	590	0	0	0	1,427
合計		78	62	85	197	4,869	5,051	14,405	8,069	40,171	72,987
前年度		60	70	88	196	4,820	5,569	13,572	7,759	39,321	71,455

会員登録集計表（平成28年度）

別表4

平成29年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	261	174	2,214	35	607	262	7,958	147	3,384	4	109	0	4	622	14,537
青森	297	47	474	16	241	98	3,716	44	954	1	6	1	10	207	5,698
岩手	354	58	1,062	30	463	130	4,127	68	1,892	1	40	0	15	287	7,953
宮城	114	92	1,041	21	506	176	5,118	78	2,556	2	31	2	95	371	9,461
秋田	230	37	504	16	401	76	2,434	40	1,018	1	7	0	3	170	4,597
山形	180	39	563	19	449	67	2,894	43	1,247	1	6	1	15	170	5,354
福島	435	77	664	29	692	152	6,577	72	1,718	1	42	0	3	331	10,131
茨城	447	67	842	21	642	202	9,443	82	2,332	0	0	0	1	372	13,707
栃木	43	36	762	19	477	123	5,413	51	1,267	0	12	0	26	229	8,000
群馬	200	47	958	22	728	147	6,688	50	1,353	1	12	0	6	267	9,945
埼玉	241	204	3,862	36	1,222	374	19,339	128	4,465	0	2	0	181	742	29,312
千葉	778	108	1,777	21	552	338	17,010	118	3,347	1	7	0	28	586	23,499
東京	175	135	2,930	26	465	213	6,780	181	4,614	1	11	0	132	556	15,107
神奈川	609	91	1,044	15	467	357	20,193	131	3,188	0	0	0	2	594	25,503
山梨	110	48	567	14	351	58	1,163	30	892	0	0	0	16	150	3,099
新潟	224	55	842	23	486	159	4,831	64	1,378	1	22	0	4	302	7,787
長野	149	36	1,339	17	403	121	4,425	68	1,553	1	13	0	4	243	7,886
富山	138	23	387	17	438	61	2,397	28	897	0	0	0	1	129	4,258
石川	51	50	667	22	421	68	3,610	37	1,131	2	16	1	54	180	5,950
福井	38	34	349	5	193	41	1,364	16	573	1	0	0	4	97	2,521
静岡	697	127	1,507	27	829	316	13,742	81	1,555	1	24	0	8	552	18,362
愛知	278	174	3,025	24	798	356	19,006	144	5,958	0	35	0	36	698	29,136
三重	98	48	594	14	383	148	6,407	47	1,380	1	4	0	36	258	8,902
岐阜	59	60	840	27	694	254	6,870	50	1,923	0	11	0	12	391	10,409
滋賀	101	31	494	12	378	77	1,010	41	1,463	0	0	1	15	162	3,461
京都	137	85	779	16	431	110	3,565	55	1,650	0	0	0	1	266	6,563
大阪	274	92	1,618	11	260	300	10,860	184	3,218	0	0	0	1	587	16,231
兵庫	251	82	1,424	19	396	306	16,331	148	5,093	2	37	0	0	557	23,532
奈良	128	34	909	9	161	64	2,793	27	954	0	0	0	2	134	4,947
和歌山	155	56	687	19	403	104	3,462	30	917	1	37	0	0	210	5,661
鳥取	77	37	389	12	169	34	1,171	23	529	1	16	0	0	107	2,351
島根	87	52	415	11	298	49	1,781	39	874	1	0	0	0	152	3,455
岡山	156	61	624	12	250	137	6,224	65	2,085	1	44	1	5	277	9,388
広島	280	123	1,355	17	264	147	5,822	99	2,903	2	60	0	73	388	10,757
山口	164	71	1,200	9	389	109	4,953	52	1,624	3	71	0	40	244	8,441
徳島	148	24	333	8	158	94	2,212	26	497	1	29	0	0	153	3,377
香川	45	27	383	10	256	48	2,499	30	736	2	12	0	1	117	3,932
愛媛	159	36	620	13	303	130	4,331	63	1,388	1	68	0	3	243	6,872
高知	60	27	346	12	154	32	935	23	525	1	7	0	11	95	2,038
福岡	565	75	1,111	18	383	191	7,389	145	2,941	4	72	0	40	433	12,501
佐賀	222	24	352	14	331	73	2,911	40	937	0	0	0	0	151	4,753
長崎	457	56	904	17	282	147	4,709	102	1,971	2	30	0	69	324	8,422
熊本	463	65	783	16	330	142	4,650	57	1,516	2	43	1	6	283	7,791
大分	210	57	572	11	187	99	2,435	26	670	0	23	0	42	193	4,139
宮崎	310	57	495	22	478	159	3,265	40	941	1	20	1	4	280	5,513
鹿児島	341	115	1,092	39	441	186	4,987	73	1,284	2	39	0	1	415	8,185
沖縄	76	44	645	10	118	44	1,057	27	341	0	0	1	28	126	2,265
日本学連	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	19	435	6,907	436	6,929
合計	11,073	3,199	46,346	853	19,728	7,079	280,857	3,213	85,632	48	1,037	445	7,945	14,837	452,618
昨年度	10,572	3,176	46,683	850	19,412	7,111	288,530	3,218	84,365	49	1,023	438	7,690	14,842	458,275

平成 28 年度

決 算 報 告 書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで)

財務諸表等

(1) 貸借対照表

平成29年3月31日現在

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	87,153,366	93,198,728	△ 6,045,362
未収金	45,863,280	45,583,001	280,279
貯蔵品	11,563,564	10,014,565	1,548,999
流動資産合計	144,580,210	148,796,294	△ 4,216,084
2. 固定資産			
(1)基本財産	150,000,000	150,000,000	0
定期預金	150,000,000	8,436,214	141,563,786
有価証券	0	141,563,786	△ 141,563,786
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(2)特定資産	223,897,096	172,685,479	51,211,617
退職給付引当資産	15,397,096	14,185,479	1,211,617
資産取得資金積立金	100,000,000	60,000,000	40,000,000
国際大会積立金	108,500,000	98,500,000	10,000,000
特定資産合計	223,897,096	172,685,479	51,211,617
(3)その他固定資産	143,145,937	164,732,059	△ 21,586,122
建物及び付属設備	81,381,087	82,972,461	△ 1,591,374
器具備品	181,522	196,340	△ 14,818
土地	61,583,328	61,583,328	0
投資有価証券	0	19,979,930	△ 19,979,930
その他固定資産	143,145,937	164,732,059	△ 21,586,122
固定資産合計	517,043,033	487,417,538	29,625,495
資産合計	661,623,243	636,213,832	25,409,411
II 負債の部			
1. 流動負債	3,347,257	7,396,777	△ 4,049,520
未払金	1,682,220	5,134,719	△ 3,452,499
預り金	171,670	275,480	△ 103,810
前受金	0	500,000	△ 500,000
賞与引当金	1,493,367	1,486,578	6,789
流動負債合計	3,347,257	7,396,777	△ 4,049,520
2. 固定負債	16,223,913	15,335,650	888,263
退職給付引当金	16,223,913	15,335,650	888,263
固定負債合計	16,223,913	15,335,650	888,263
負債合計	19,571,170	22,732,427	△ 3,161,257
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産 (うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	642,052,073	613,481,405	28,570,668
(うち基本財産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(208,500,000)	(158,500,000)	(50,000,000)
正味財産合計	642,052,073	613,481,405	28,570,668
負債及び正味財産合計	661,623,243	636,213,832	25,409,411

(2) 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	1,161,611	2,149,406	△ 987,795
会費収入	300,098,500	301,675,000	△ 1,576,500
事業収入	161,498,098	164,099,453	△ 2,601,355
補助金等収入	85,601,354	85,355,280	246,074
協賛金寄付金収入	45,250,000	45,150,000	100,000
雑収入	4,824,279	5,094,617	△ 270,338
経常収益計	598,433,842	603,523,756	△ 5,089,914
(2) 経常費用			
事業費	249,441,698	211,294,987	38,146,711
管理費	115,196,079	118,803,517	△ 3,607,438
加盟費	1,075,603	1,080,315	△ 4,712
競技力向上費	166,947,080	158,736,430	8,210,650
指導者育成事業費	5,903,360	6,985,210	△ 1,081,850
大会開催等関係費	22,143,596	24,081,643	△ 1,938,047
スポーツマスターズ参加支援費	4,072,680	3,227,000	845,680
減価償却費	1,606,192	1,628,202	△ 22,010
経常費用計	566,386,288	525,837,304	40,548,984
評価損益等調整前当期経常増減額	32,047,554	77,686,452	△ 45,638,898
基本財産評価損益等	△ 3,363,946	27,789,528	△ 31,153,474
特定資産評価損益等	△ 68,010	69,010	△ 137,020
投資有価証券評価損益等	△ 44,930	△ 14,680	△ 30,250
評価損益等 計	△ 3,476,886	27,843,858	△ 31,320,744
当期経常増減額	28,570,668	105,530,310	△ 76,959,642
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,570,668	105,530,310	△ 76,959,642
一般正味財産期首残高	613,481,405	507,951,095	105,530,310
一般正味財産期末残高	642,052,073	613,481,405	28,570,668
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	642,052,073	613,481,405	28,570,668

(3)正味財産増減計算書内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

区 分	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1). 経常収益			
基本財産運用収入	1,161,611	0	1,161,611
会費収入	188,971,740	111,126,760	300,098,500
事業収入	161,498,098	0	161,498,098
補助金等収入	85,601,354	0	85,601,354
協賛金寄付金収入	45,250,000	0	45,250,000
雑収入	4,824,279	0	4,824,279
経常収益計	487,307,082	111,126,760	598,433,842
(2). 経常費用			
事業費	487,307,082	0	487,307,082
役員報酬	1,462,500	0	1,462,500
給料	11,491,633	0	11,491,633
職員手当等	8,079,929	0	8,079,929
退職給付費用	674,027	0	674,027
福利厚生費	1,844,335	0	1,844,335
賞与引当金繰入	910,954	0	910,954
旅費交通費	106,649,468	0	106,649,468
通信運搬費	3,872,098	0	3,872,098
支払手数料	1,844,044	0	1,844,044
減価償却費	979,777	0	979,777
会議費	21,409,350	0	21,409,350
消耗品費	30,528,069	0	30,528,069
印刷製本費	16,019,016	0	16,019,016
光熱水費	2,166,460	0	2,166,460
賃借料	11,144,413	0	11,144,413
保険料	962,746	0	962,746
諸謝金	4,948,732	0	4,948,732
報償費	5,206,601	0	5,206,601
租税公課	3,340,122	0	3,340,122
支払負担金	44,042,217	0	44,042,217
支払助成金	165,910,148	0	165,910,148
委託費	35,106,899	0	35,106,899
渉外交際費	5,200,540	0	5,200,540
雑費	3,513,004	0	3,513,004

区 分	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費	0	79,079,206	79,079,206
役員報酬	0	787,500	787,500
給料	0	7,347,110	7,347,110
職員手当等	0	5,165,857	5,165,857
退職給付費用	0	430,935	430,935
福利厚生費	0	1,179,165	1,179,165
賞与引当金繰入	0	582,413	582,413
旅費交通費	0	2,933,151	2,933,151
通信運搬費	0	4,429,912	4,429,912
支払手数料	0	6,215,705	6,215,705
減価償却費	0	626,415	626,415
会議費	0	15,888,452	15,888,452
消耗品費	0	1,167,150	1,167,150
印刷製本費	0	1,202,684	1,202,684
光熱水費	0	1,385,113	1,385,113
保険料	0	332,737	332,737
租税公課	0	2,135,488	2,135,488
委託費	0	25,725,012	25,725,012
渉外交際費	0	630,730	630,730
雑費	0	913,677	913,677
経常費用計	487,307,082	79,079,206	566,386,288
評価損益等調整前当期経常増減額	0	32,047,554	32,047,554
基本財産評価損益等	△ 3,363,946		△ 3,363,946
特定資産評価損益等	△ 41,486	△ 26,524	△ 68,010
投資有価証券評価損益等	△ 27,407	△ 17,523	△ 44,930
評価損益等 計	△ 3,432,839	△ 44,047	△ 3,476,886
当期経常増減額	△ 3,432,839	32,003,507	28,570,668
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,432,839	32,003,507	28,570,668
一般正味財産期首残高	239,804,438	373,676,967	613,481,405
一般正味財産期末残高	236,371,599	405,680,474	642,052,073
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
当期指定正味財産期首残高	0	0	0
当期指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	236,371,599	405,680,474	642,052,073

(4) 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
但し、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しい場合は、償却原価法を適用していない。
- ② その他の有価証券……期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 貯蔵品……個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産の減価償却の方法

法人税法で規定する定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

- ① 退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、退職給与の当期末要支給額に相当する金額を計上している。
- ② 賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産・特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	8,436,214	141,563,786	0	150,000,000
有価証券	141,563,786	0	141,563,786	0
小計	150,000,000	141,563,786	141,563,786	150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	4,137,469	11,259,627	0	15,397,096
有価証券	10,048,010	0	10,048,010	0
資産取得資金積立金	60,000,000	40,000,000	0	100,000,000
国際大会積立金	98,500,000	10,000,000	0	108,500,000
小計	172,685,479	61,259,627	10,048,010	223,897,096
合計	322,685,479	202,823,413	151,611,796	373,897,096

(注) 基本財産および特定資産のうちの有価証券は当期に売却し、その内訳は以下の通りである。

(単位:円)

科目	売却価額	売却原価	売却損益
第8回利付国債(40年)	37,223,700	38,059,320	△ 835,620
第45回利付国債(30年)	48,846,400	50,169,080	△ 1,322,680
第7回利付国債(40年)	52,129,740	53,335,386	△ 1,205,646
第46回ソフトバンク株式会社	9,980,000	10,048,010	△ 68,010
合計	148,179,840	151,611,796	△ 3,431,956

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	150,000,000		(150,000,000)	
有価証券	0		0	
小計	150,000,000		(150,000,000)	
特定資産				
退職給付引当資産	15,397,096			(15,397,096)
資産取得資金積立金	100,000,000		(100,000,000)	
国際大会積立金	108,500,000		(108,500,000)	
小計	223,897,096		(208,500,000)	(15,397,096)
合計	373,897,096		(358,500,000)	(15,397,096)

4. 投資有価証券

① 投資有価証券については当期に売却し、その内訳は以下の通りである。

(単位:円)

科目	売却価額	売却原価	売却損益
第2回ソフトバンク株式会社	9,935,000	9,966,930	△ 31,930

② 第41回ソフトバンク株式会社社債(額面1,000,000円)は、平成29年3月に満期償還し、その償還損益は△13,000円である。

5. 担保に供している資産

該当事項なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行なっている)

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び附属設備	88,409,655	7,028,568	81,381,087
什器備品	798,215	616,693	181,522
合計	89,207,870	7,645,261	81,562,609

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収入金	45,863,280	0	45,863,280
合計	45,863,280	0	45,863,280

8. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本スポーツマスターズ委託金交付金	(公財)日本体育協会	0	2,929,760	2,929,760	0	一般正味財産
スポーツ指導者育成事業交付金	同上		96,000	96,000	0	〃
スポーツ振興基金助成金	(独法)日本スポーツ振興センター	0	5,345,000	5,345,000	0	〃
スポーツ振興くじ助成金	同上	0	52,546,000	52,546,000	0	〃
28年度選手強化委託金	(公財)日本オリンピック委員会	0	14,223,000	14,223,000	0	〃
28年度JOCジュニア強化交付金	同上	0	200,000	200,000	0	〃
マーケティングプログラム交付金	同上	0	7,540,000	7,540,000	0	〃
国民体育大会役員旅費	希望郷いわて国体実行委員会	0	873,594	873,594	0	〃
全日本若手キャンプ助成金	(公財)ヨネックススポーツ振興財団	0	750,000	750,000	0	〃
ジュニア育成に対する助成金	(公財)ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	〃
スポーツメディカル支援補助金	みやぎ観光コンベンション協会	0	98,000	98,000	0	〃
合計		0	85,601,354	85,601,354	0	-

11. 重要な後発事象

該当事項なし

(5) 附属明細書

1. 基本財産および特定資産

基本財産および特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額および残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,486,578	1,493,367	1,486,578	0	1,493,367
退職給付引当金	15,335,650	1,073,438	185,175	0	16,223,913

3. その他貸借対照表及び正味財産増減計算書の内容を補足する重要な事項

該当事項はない。

(6) 財産目録

(平成29年3月31日現在)

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	現金手許有高	運転資金として	344,390	
	定期預金	三菱東京UFJ銀行 大井町支店 静岡銀行 大井町支店	同上	9,979,930 47,191,080	
	普通預金	三菱東京UFJ銀行 大井町支店 静岡銀行 大井町支店	同上	29,225,639 13,981	
		青梅信用金庫 本店 枚方信用金庫 本店	同上	115,802 142,926	
		芝信用金庫 大井町支店	同上	6,758	
	郵便振替	ゆうちょ銀行	同上	132,860	
			(現金預金計)	87,153,366	
	未収金	スポーツ振興センター他 株式会社デジタルガレージ他	公益目的事業・受取補助金他 未収分として 公益目的事業・審判、技術等級 認定料他未収分として	38,257,380 7,605,900	
			(未収金計)	45,863,280	
	貯蔵品	明宏印刷株式会社他	公益目的事業・審判、技術等級 認定用教材、用品として	11,563,564	
		(貯蔵品計)	11,563,564		
流動資産合計				144,580,210	
(固定資産)	基本財産	定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井町支店 静岡銀行 大井町支店 青梅信用金庫 本店 枚方信用金庫 本店 芝信用金庫 大井町支店	公益目的保有財産であり運用益 を公益目的事業の財源に充当	50,000,000 50,000,000 10,000,000 10,000,000 30,000,000	
			(基本財産計)	150,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	定期預金・三菱東京UFJ銀行 大井町支店	職員の退職金支出のため保有。 公益目的事業と運営管理業務 の財源に使用	15,397,096
		資産取得資金積立金	定期預金 三菱東京UFJ銀行、静岡銀行	資産取得用積立であり、運用益を公益 目的事業の財源に充当	100,000,000
		国際大会積立金	定期預金 三菱東京UFJ銀行、芝信用金庫	国際大会開催用積立であり、運用益 を公益目的事業の財源に充当	108,500,000
				(特定資産計)	223,897,096
	その他固定資産	建物及び付属設備	ブリリア大井町ラヴィアンタワー 鉄筋コンクリート造2階 東京都品川区大井1-16-2-201 149.79平米	公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	81,381,087
		器具備品	ブリリア大井町ラヴィアンタワー内ラック	公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	181,520
		土地	スピードラップ・超音波治療器 ブリリア大井町ラヴィアンタワー用地 東京都品川区大井1-16-2-201 共有持分 24.86平米	全て公益目的事業のため使用 公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	2 61,583,328
				(その他固定資産計)	143,145,937
固定資産合計				517,043,033	
資産合計				661,623,243	
(流動負債)	未払金	品川税務署他 株式会社デジタルガレージ他	公益目的事業と運営管理業務 に関する消費税等の未払分として 公益目的事業・審判、技術等級 手数料他未払分として	1,082,500 599,720	
			(未払金計)	1,682,220	
	預り金 賞与引当金	品川税務署 職員分	源泉徴収税預り分として 公益目的事業と運営管理業務 に従事する職員の賞与として	171,670 1,493,367	
流動負債合計				3,347,257	
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公益目的事業と運営管理業務 に従事する職員の退職給付金として	16,223,913	
固定負債合計				16,223,913	
負債合計				19,571,170	
正味財産				642,052,073	

独立監査人の監査報告書

平成29年5月15日

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

会長 安道 光二 殿

櫻井公認会計士事務所

公認会計士



<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人日本ソフトテニス連盟の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5（1）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。

監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。

監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人日本ソフトテニス連盟の平成29年3月31日現在の平成28年事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人日本ソフトテニス連盟と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

平成 29 年 5 月 17 日

監 査 報 告 書

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟
会 長 安 道 光 二 殿

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

監事

井上 清一 

監事

萬 正一 

監事

山本 毅 

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は理事会等重要な会議に出席し、理事及び担当職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を監査いたしました。
- (2) 当該事業年度に係る会計帳簿及び財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務執行に関しては、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上